令和６年度

設計第19号 南畑敷生協団地老朽管更新工事

数　量　計　算　書

（ 2工区 ）

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
1．土　工					
	舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ ｔ＝15ｃｍまで	m	2,070	
	舗装版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3,　t=10cm以下	m2	637	
	AS殻運搬工	DT　4ｔ積BH0.28m3 積込 As版ｶｯﾀｰ殻	m3	25	
	処分費		t	60	
	床掘工	土砂 BH0.28m3	m3	800	
	ダスト埋戻工	ﾀﾞｽﾄ ＢＨ0.28m3　タンパ転圧	m3	225	
	発生土埋戻工	在来土 ＢＨ0.28m3　タンパ転圧	m3	415	
	発生土運搬工	DT　4ｔ積 BH0.28m3積込 土砂（現場～仮置場）	m3	415	
	積込工	排出ｶﾞｽ対策型 BH0.80m3, 土砂（仮置場）ルーズ	m3	415	
	流用土運搬工	DT　4ｔ積 BH0.80m3積込 土砂（仮置場～現場）	m3	415	
	残土運搬工	DT　10ｔ積 BH0.80m3積込 土砂（仮置場～処分地）	m3	392	
	処分費	ﾚｷ質土	m3	392	
2.仮舗装復旧工					
	下層路盤工（市道）	人力､W=1.8m未満､ﾀﾝﾊﾟ転圧 RC-40､ｔ＝15cm　車道	m2	637	
	上層路盤工（市道）	人力､W=1.8m未満､ﾀﾝﾊﾟ転圧 M-30､ｔ＝11cm　車道	m2	637	
	表層工（市道）	人力､W=1.4m未満､ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ,　ｔ＝3cm　車道 PK-3	m2	637	
	区画線工	ﾍﾟｲﾝﾄ式 W=15cm 実線	m		

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	区画線工	ﾍﾟｲﾝﾄ式 W=45cm 実線	m		
3.本舗装復旧工	＜舗装取壊し､掘削＞				
	舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ ｔ＝15ｃｍまで		1160	
	舗装版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3,　ｔ=10cm以下	m2	1700	
	As殻運搬工	BH積込 DT4ｔ運搬 Asｶﾞﾗ	m3	62	
	処分費	Asがら	t	145	
	床堀	排出ｶﾞｽ対策型 ＢＨ0.28m3 ﾚｷ質土	m3	6	
	残土処理工	BH積込 DT4ｔ運搬 土砂	m3	6	
	処分費	土砂	m3	6	
	＜本舗装復旧＞				
	表層工（車道）	車道 1.4m<b≦3.0m（ﾀｯｸｺｰﾄ） 再生密粒度ｱｽｺﾝ　ｔ＝4cm	m2	1700	
	不陸整正		m2	1700	
4．配管工	＜材料＞				
	（配水管）				
	EF形HPPE　φ75，φ50				

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	EF直管	φ75×5,000	本	141	
	EF直管(切管用)	受け口付 φ75×5,000	本	28	
	EF直管	ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ φ75×5,000	本	1	
	EFｿｹｯﾄ	φ75	個	38	
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×90°	個		
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×45°	個	19	
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×22 1/2°	個	15	
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×11 1/4°	個		
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×90°	個		
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×45°	個	11	
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×22 1/2°	個	11	
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×11 1/4°	個		
	EFチーズ	φ75×φ75	個	11	
	EFチーズ	φ75×φ50	個	4	
	レデューサ	φ75×φ50	個	1	
	PE挿し口付鋳鉄製T字管	φ75×φ75 7.5K GF	個	7	
	フランジ短管	φ75×H400 7.5k RF-GF	個	6	
	フランジ短管	φ75×H500 7.5k RF-GF	個	1	

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	補修弁	φ75×H150 7.5k RF-GF	個	7	
	空気弁(急速)	φ25 7.5k RF	個	7	
	不断水割T字管	鋳鉄管用 φ75(DIP)×φ75 7.5k GF	組		
	ﾌﾗﾝｼﾞ接合材	LSP型 φ75 7.5k GF SUS･BN	組	21	
	ﾌﾗﾝｼﾞ接合材	φ75 7.5k GF SUS･BN	組		
	PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ75 7.5k	基	11	
	明示テープ	HPPEφ75	m	883.9	
	管埋設ｼｰﾄ	W=150mm 2倍折込	m	883.9	
	ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ		m	883.9	
	ﾒｶﾆｶﾙｷｬｯﾌﾟ	φ75	個	2	
	ﾒｶﾆｶﾙｷｬｯﾌﾟ	φ50	個		
	EF形HPPEφ50				
	EF直管	φ50×5,000	本	11	
	EF直管(切管用)	受け口付 φ50×5,000	本	2	
	EFｿｹｯﾄ	φ50	個	2	
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×90°	個		
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×45°	個		
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×22 1/2°	個		

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×11 1/4°	個		
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×90°	個		
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×45°	個		
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×22 1/2°	個		
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×11 1/4°	個		
	PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ50 7.5k	基	2	
	明示テープ	HPPEφ50	m	65.8	
	管埋設ｼｰﾄ	W=150mm 2倍折込	m	65.8	
	ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ		m	65.8	
	(排水管)				
	EF形HPPE φ50				
	EF直管	φ75×5,000	本		
	EF直管(切管用)	φ50×5,000	本		
	EF直管(切管用)	プレーンエンド φ75×5,000	本		
	EF直管(切管用)	受け口付 φ50×5,000	本	2	
	EFｿｹｯﾄ	φ100	個		
	EFｿｹｯﾄ	φ75	個		
	EFｿｹｯﾄ	φ50	個		

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×90°	個	13	
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×45°	個		
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×22 1/2°	個		
	EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×11 1/4°	個		
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×90°	個	2	
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×45°	個		
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×22 1/2°	個		
	EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×11 1/4°	個		
	EFチーズ	φ100×φ75	個		
	EFチーズ	φ75×φ75	個		
	EFチーズ	φ75×φ50	個		
	EFﾌﾗﾝｼﾞ	φ100 FCD 7.5k GF	個		
	EF受口付ﾌﾗﾝｼﾞ	φ75 FCD 7.5k GF	個		
	PE挿し口付鋳鉄製T字管	φ75×φ75 7.5k GF	個		
	補修弁	φ75×H150 7.5k RF-GF	個		
	空気弁(急速)	φ25 7.5k RF	個		
	DIP管用異種管継手	φ100×φ75 GX挿口-PE挿口	個		
	不断水割T字管	鋳鉄管用 φ100(DIP)×φ100 7.5k GF	組		

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	不断水割T字管	鋳鉄管用 φ75(DIP)×φ75 7.5k GF	組		
	ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ100 7.5k RF	基		
	ﾌﾗﾝｼﾞ接合材	LSP型 φ75 7.5k GF SUS･BN	組		
	ﾌﾗﾝｼﾞ接合材	φ75 7.5k GF SUS･BN	組		
	PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ150 7.5k	基		
	PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ100 7.5k	基		
	PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ50 7.5k	基	3	
	管路断水器	φ100 7.5k　DIP用	基		
	管路断水器	φ75 7.5k　DIP用	基		
	二受T字管	GX形 DIP ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装 φ250×φ100	個		
	明示テープ	HPPEφ50	m	14.7	
	明示テープ	HPPEφ100	m		
	明示テープ	HPPEφ75	m		
	管埋設ｼｰﾄ	W=150mm 2倍折込	m	14.7	
	ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ		m	14.7	
	ﾒｶﾆｶﾙｷｬｯﾌﾟ	φ100	個		
	＜布設工＞				

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	(配水管)				
	HPPE φ75				
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ75	m	875.3	
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合 (ｿｹｯﾄ･両受部) φ100	箇所		
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合 (ｿｹｯﾄ･両受部) φ75	箇所	87	
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合 (片受口部) φ75	口	191	
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ100	口		
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ75	口	82	
	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75 7.5k	口	14	
	メカニカル継手工	離脱防止付 φ75	口	2	
	継手取外し工	メカニカル継手 φ75	口	8	
	空気弁設置工	φ75	基	7	
	仕切弁設置工	φ75	基	11	
	不断水連絡工	鋳鉄管用 φ100×φ100	箇所		
	不断水連絡工	鋳鉄管用 φ75×φ75	箇所		
	管路断水器設置工	φ100　DIP用	箇所		
	管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ100	m		
	管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ75	m	883.9	

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	埋設表示シート取付工	W=15cm, ﾀﾞﾌﾞﾙ, 50m/巻	m	949.7	
	ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ取付工		m	949.7	
	HPPE φ50				
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ50	m	64.5	
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（ｿｹｯﾄ･両受部） φ50	箇所	2	
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（片受口部） φ50	口	13	
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ50	口	4	
	仕切弁設置工	φ50	基	2	
	メカニカル継手工	離脱防止付 φ50	口		
	管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ50	m	65.8	
	埋設表示シート取付工	W=15cm, ﾀﾞﾌﾞﾙ, 50m/巻	m	65.8	
	ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ取付工		m	65.8	
	（排水管）				
	HPPE φ50				
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ50	m	9.8	
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ100	m		
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ75	m		
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（ｿｹｯﾄ･両受部） φ50	箇所	13	

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（ｿｹｯﾄ･両受部） φ100	箇所		
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（ｿｹｯﾄ･両受部） φ75	箇所		
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（片受口部） φ50	口	4	
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（片受口部） φ75	口		
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ150	口		
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ100	口		
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ50	口	10	
	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ100 7.5k	口		
	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75 7.5k	口		
	GX継手工	異形管部 φ150	口		
	空気弁設置工	φ75	基		
	仕切弁設置工	φ50	基	3	
	仕切弁設置工	φ100	基		
	不断水連絡工	鋳鉄管用 φ100×φ100	箇所		
	不断水連絡工	鋳鉄管用 φ75×φ75	箇所		
	管路断水器設置工	φ100　DIP用	箇所		
	管路断水器設置工	φ75　DIP用	箇所		
	管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ50	m	14.7	

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ100	m		
	管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ50	m		
	埋設表示シート取付工	W=15cm, ﾀﾞﾌﾞﾙ, 50m/巻	m	14.7	
	ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ取付工		m	14.7	
	コンクリート削孔工	φ75　L=100	箇所	4	
5.土留工					
	軽量鋼矢板建込工･引抜工	両側分 機械力･矢板長2.0m	m	66.3	
	軽量鋼矢板建込工･引抜工	両側分 機械力･矢板長2.5m	m	11.2	
	軽量金属支保設置工･撤去工	1段	m	77.5	
6.弁室工					
材料	＜仕切弁室材料＞				
	鉄蓋	円形1号 H=150	個	15	
	上部壁	φ250 H=150 NVK-25-150A	個	15	
	中部壁	φ250 H=200 NVK-25-200B	個	30	
	中部壁	φ250 H=300 NVK-25-300B	個		

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	下部壁	φ250/φ350 H=300 NVK-25-300C	個	15	
	底版	φ350 H=70 NHVO-25-70S(KRE)	個	15	
	＜空気弁室材料＞				
	鉄蓋	円形3号 H=100 WORS-50G-10L-F1C	個	7	
	上部壁	φ500 H=200 WO-50-200A Nツキ	個	7	
	中部壁	φ500 H=100 NHVO-50-100B	個	7	
	下部壁	φ500 H=200 NHVO-50-200CH	個	7	
	底版	φ500 H=40 NHVO-50-40S(1/2)	個	7	
設置工	＜仕切弁室設置工＞				
	仕切弁筐設置工	円形1号 円形 250mm×H150	箇所	15	
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 上部壁φ250×H150	箇所	15	
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁φ250×H200	箇所	30	
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁φ250×H300	箇所		
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 下部壁φ250/φ350×H300	箇所	15	
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 底板φ350×H70	箇所	15	

数量総括表　　配水管(2工区) 布設工事

費　目	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　　要
	＜空気弁室設置工＞				
	空気弁筐設置工	円形3号 円形 500㎜×H100	箇所	7	
	空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 上部壁　φ500×H200	箇所	7	
	空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁　φ500×H100	箇所	7	
	空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 下部壁　φ500×H200	箇所	7	
	空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 底板φ500×H40	箇所	7	
7.既設弁室撤去工					
	既設仕切弁室鉄蓋撤去	1号　φ250	箇所	17	
	既設空気弁・消火栓室鉄蓋撤去	3号　φ500	箇所	6	
8.通水試験工					
	通水試験工	給水車なし　φ75～φ50	日	0.8	
9.試掘工					
	試掘工		箇所	18	
１０．安全対策工					
	交通誘導員		人	372	

数量総括表　　配水管－消防(2工区) 布設工事

工　種	名　　称	形　状　寸　法	単位	数　　量	備　　考
１．配管(消防)材料					
	PE挿し口付鋳鉄製T字管	φ75×φ75 7.5k GF	個	6	
	補修弁	φ75×H150 7.5k RF-GF	個	6	
	フランジ短管	φ75×H400 7.5k RF-GF	個	6	
	地下式単口消火栓	φ75 7.5k RF	基	6	
	ﾌﾗﾝｼﾞ接合材	LSP型 φ75 7.5k GF SUS･BN	組	18	
	消火栓ﾎﾞｯｸｽ	H=640			
	鉄蓋	円形3号 H=100	個	6	
	上部壁	φ500 H=200	個	6	
	中部壁	φ500 H=100	個	6	
	下部壁	φ500 H=200	個	6	
	底板	φ500 H=40	個	6	
２.布設工					
	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75 7.5k	口	12	
	消火栓設置工	φ75　地下式単口	基	6	
	＜消火栓室＞	H=640			
	消火栓筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	6	

工　種	名　　称	形　状　寸　法	単位	数　　量	備　　考
	消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 上部壁　φ500×H200	箇所	6	
	消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁　φ500×H100	箇所	6	
	消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 下部壁　φ500×H200	箇所	6	
	消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 底板φ500×H40	箇所	6	
３．安全対策工					
	交通誘導員		人	6	

土工集計表

名　　称	形状寸法	単位	土工①-1 D=1.10 HPPE φ75	土工①-2 D=1.16 HPPE φ75	土工①-3 D=1.19 HPPE φ75	土工①-4 D=1.21 HPPE φ75	土工①-5 D=1.27 HPPE φ75	土工②-1 D=1.36 HPPE φ75	土工②-2 D=1.46 HPPE φ75	土工②-3 D=1.53 HPPE φ75	土工②-4 D=1.57 HPPE φ75	土工②-5 D=1.61 HPPE φ75	土工②-6 D=1.64 HPPE φ75	土工②-7 D=1.45 HPPE φ75	土工③ D=1.10 HPPE φ50	土工排-1 D=1.10 HPPE φ50	小計	合計	設計計上数量
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	m	1483.40	52.40	58.00	7.60	5.00	61.80	28.80	9.60	12.20	9.80	22.40	8.60	131.60	10.00	1901.20	2072.88	2,070
舗装版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	m^2	445.02	15.72	17.40	2.28	1.50	27.81	12.96	4.32	5.49	4.41	10.08	3.87	39.48	3.00	593.34	636.64	637
AS殻運搬工	DT　4t積BH0.28m3 積込 As版ｶｯﾀｰ殻	m^3	17.80	0.63	0.70	0.09	0.06	1.11	0.52	0.17	0.22	0.18	0.40	0.15	1.58	0.12	23.73	25.46	25
処分費		t	41.83	1.48	1.65	0.21	0.14	2.61	1.22	0.40	0.52	0.42	0.94	0.35	3.71	0.28	55.77	59.83	60
床掘工	土砂 BH0.28m3	m^3	556.28	20.59	23.32	3.10	2.13	41.99	20.87	7.26	9.44	7.76	18.04	6.19	48.17	3.66	768.80	800.41	800
ダスト埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	m^3	169.11	5.97	6.61	0.87	0.57	10.66	4.97	1.66	2.10	1.69	3.86	1.48	14.02	1.07	224.64	224.95	225
発生土埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	m^3	271.46	10.53	12.18	1.64	1.17	24.19	12.57	4.49	5.93	4.94	11.59	3.72	24.08	1.83	390.32	415.27	415
発生土運搬工	DT　4t積 BH0.28m3積込 土砂(現場～仮置場)	m^3	271.46	10.53	12.18	1.64	1.17	24.19	12.57	4.49	5.93	4.94	11.59	3.72	24.08	1.83	390.32	415.27	415
積込工	排出ｶﾞｽ対策型 BH0.80m3, 土砂(仮置場)ルーズ	m^3	271.46	10.53	12.18	1.64	1.17	24.19	12.57	4.49	5.93	4.94	11.59	3.72	24.08	1.83	390.32	415.27	415
流用土運搬工	DT　4t積 BH0.80m3積込 土砂(仮置場～現場)	m^3	271.46	10.53	12.18	1.64	1.17	24.19	12.57	4.49	5.93	4.94	11.59	3.72	24.08	1.83	390.32	415.27	415
残土運搬工	DT　10t積 BH0.80m3積込 土砂(仮置場～処分地)	m^3	284.82	14.62	11.14	1.46	0.96	17.80	8.30	2.77	3.51	2.82	6.45	2.47	24.09	1.83	383.04	391.99	392
処分費	ﾚｷ質土	m^3	284.82	14.62	11.14	1.46	0.96	17.80	8.30	2.77	3.51	2.82	6.45	2.47	24.09	1.83	383.04	391.99	392
																	－	－	
下層路盤工(市道)	人力､W=1.8m未満､ﾀﾝﾊﾟ転圧 RC-40､t＝15cm　車道	m^2	445.02	15.72	17.40	2.28	1.50	27.81	12.96	4.32	5.49	4.41	10.08	3.87	39.48	3.00	593.34	636.64	637
上層路盤工(市道)	人力､W=1.8m未満､ﾀﾝﾊﾟ転圧 M-30､t＝11cm　車道	m^2	445.02	15.72	17.40	2.28	1.50	27.81	12.96	4.32	5.49	4.41	10.08	3.87	39.48	3.00	593.34	636.64	637
表層工(市道)	人力､W=1.4m未満､ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ, t＝3cm　車道 PK-3	m^2	445.02	15.72	17.40	2.28	1.50	27.81	12.96	4.32	5.49	4.41	10.08	3.87	39.48	3.00	593.34	636.64	637
区画線工	ﾍﾟｲﾝﾄ式 W=15cm 実線	m															－	－	
区画線工	ﾍﾟｲﾝﾄ式 W=45cm 実線	m															－	－	

土工集計表

名　　称	形状寸法	単位	土工排-2 D=0.15 HPPE φ50	土工排-3 D=1.11 HPPE φ50	既設弁室撤去土工	試掘工土工											小計		
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	m	4.80	2.88	92.00	72.00											171.68		
舗装版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	m^2	1.44	0.86	23.00	18.00											43.30		
AS殻運搬工	DT　4t積BH0.28m3 積込 As版ｶｯﾀｰ殻	m^3	0.06	0.03	0.92	0.72											1.73		
処分費		t	0.14	0.07	2.16	1.69											4.06		
床掘工	土砂 BH0.28m3	m^3	0.39	1.06	12.88	17.28											31.61		
ダスト埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	m^3	－	0.31	－	－											0.31		
発生土埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	m^3	－	0.54	7.13	17.28											24.95		
発生土運搬工	DT　4t積 BH0.28m3積込 土砂(現場～仮置場)	m^3	－	0.54	7.13	17.28											24.95		
積込工	排出ｶﾞｽ対策型 BH0.80m3, 土砂(仮置場)ルーズ	m^3	－	0.54	7.13	17.28											24.95		
流用土運搬工	DT　4t積 BH0.80m3積込 土砂(仮置場～現場)	m^3	－	0.54	7.92	14.20											22.66		
残土運搬工	DT　10t積 BH0.80m3積込 土砂(仮置場～処分地)	m^3	0.39	0.52	4.96	3.08											8.95		
処分費	ﾚｷ質土	m^3	0.39	0.52	4.96	3.08											8.95		
																	－		
下層路盤工(市道)	人力､W=1.8m未満､ﾀﾝﾊﾟ転圧 RC-40､t＝15cm　車道	m^2	1.44	0.86	23.00	18.00											43.30		
上層路盤工(市道)	人力､W=1.8m未満､ﾀﾝﾊﾟ転圧 M-30､t＝11cm　車道	m^2	1.44	0.86	23.00	18.00											43.30		
表層工(市道)	人力､W=1.4m未満､ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ, t＝3cm　車道 PK-3	m^2	1.44	0.86	23.00	18.00											43.30		
区画線工	ﾍﾟｲﾝﾄ式 W=15cm 実線	m															－		
区画線工	ﾍﾟｲﾝﾄ式 W=45cm 実線	m															－		

土工延長集計表

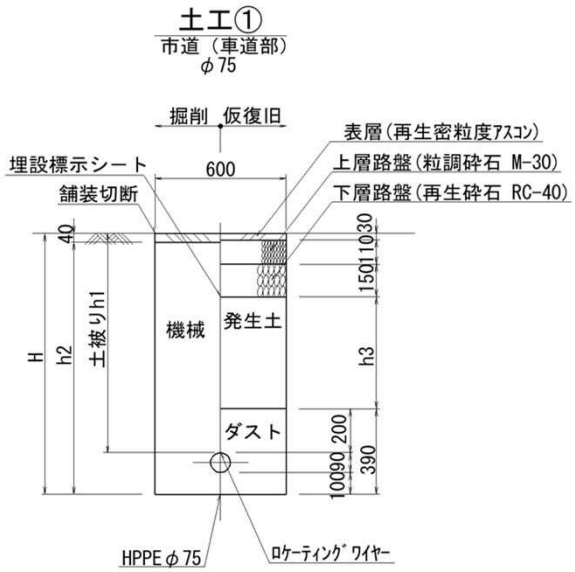
項目		延長															単位	計
			配水管									排水管						
名　称	形状寸法		B路線	E路線	F路線	G路線	H路線	I路線	J路線	K路線	M路線	B路線	H路線	I路線	J路線	K路線		
土工①-1	HPPE φ75 D=1.10	土工長	108.8	44.9	44.1	208.8	40.6	41.5	246.4		6.7						m	741.7
土工①-2	HPPE φ75 D=1.16	土工長					26.2										m	26.2
土工①-3	HPPE φ75 D=1.19	土工長						29.0									m	29.0
土工①-4	HPPE φ75 D=1.21	土工長							3.8								m	3.8
土工①-5	HPPE φ75 D=1.27	土工長				2.5											m	2.5
土工②-1	HPPE φ75 D=1.36	土工長	24.3						6.6								m	30.9
土工②-2	HPPE φ75 D=1.46	土工長				8.3		6.1									m	14.4
土工②-3	HPPE φ75 D=1.53	土工長						3.4	1.4								m	4.8
土工②-4	HPPE φ75 D=1.57	土工長					2.0		4.1								m	6.1
土工②-5	HPPE φ75 D=1.61	土工長							4.9								m	4.9
土工②-6	HPPE φ75 D=1.64	土工長				4.8	6.4										m	11.2
土工②-7	HPPEφ75 D=1.45	土工長	4.3														m	4.3
土工③	HPPE φ50 D=1.10	土工長						50.4		15.4							m	65.8
土工排-1	HPPE φ50 D=1.10	土工長											1.4	0.8	1.4	1.4	m	5.0
土工排-2	HPPE φ50 D=0.15	土工長											0.5	0.6	0.7	0.6	m	2.4
土工排-3	HPPE φ50 D=1.11	土工長										1.4						1.4

土工　①-1　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ75　土被り　1.10　m

土工延長	土工延長集計表より	=	741.7 m
掘削深	= 1.10 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =		1.250 m
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =		0.390 m
埋戻深	在来土 = 0.04 + 1.25 − 0.39 − 0.29 =		0.610 m



埋戻控除　$0.09^2 \times \pi / 4$　= 0.006

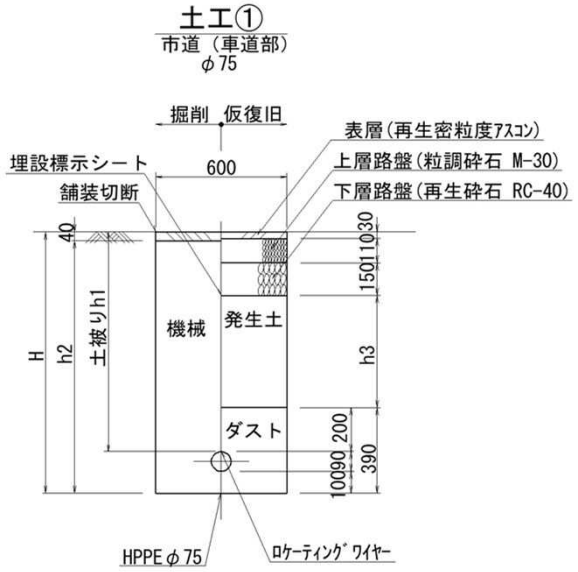
工　種	細　別	1m当り・1箇所当り 算　式	数　量	単位	数　量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2　×　1.0	2.0	m	1,483.40
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600　×　1.0	0.600	m2	445.02
As殻処理工		0.600　×　0.04	0.024	m3	17.80
As殻処理工		17.80　×　2.35	41.830	t	41.83
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600　×　1.250	0.750	m3	556.28
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.390 −　0.006　(配管控除)	0.228	m3	169.11
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.610	0.366	m3	271.46
在来土流用		在来土流用 271.46	271.46	m3	271.46
残土処理工		在来土流用 556.28　−　271.46　=	284.82	m3	284.82
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.600　×　1.0	0.600	m2	445.02
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	445.02
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	445.02

土工　①-2　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ75　土被り　1.16　m

土工延長	土工延長集計表より	=	26.2 m
掘削深	= 1.16 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =		1.310 m
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =		0.390 m
埋戻深	在来土 = 0.04 + 1.31 − 0.39 − 0.29 =		0.670 m



埋戻控除　$0.09^2 \times \pi / 4$　= 0.006

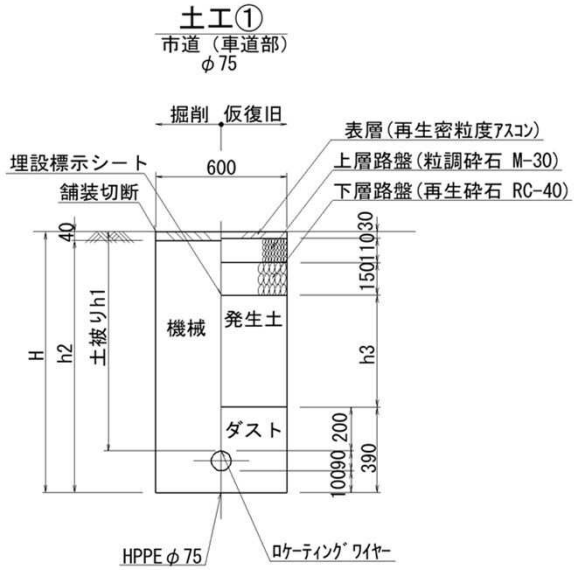
工　種	細　別	1m当り・1箇所当り 算　式	数　量	単位	数　量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2　×　1.0	2.0	m	52.40
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600　×　1.0	0.600	m2	15.72
As殻処理工		0.600　×　0.04	0.024	m3	0.63
As殻処理工		0.63　×　2.35	1.481	t	1.48
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600　×　1.310	0.786	m3	20.59
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.390 −　0.006　(配管控除)	0.228	m3	5.97
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.670	0.402	m3	10.53
在来土流用		在来土流用 5.97	5.97	m3	5.97
残土処理工		在来土流用 20.59　−　5.97　=	14.62	m3	14.62
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.600　×　1.0	0.600	m2	15.72
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	15.72
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	15.72

土工　①-3　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ75　土被り　1.19　m

土工延長　土工延長集計表より　=　29.0 m
掘削深　= 1.19 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =　1.340 m
埋戻深　ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =　0.390 m
埋戻深　在来土 = 0.04 + 1.34 − 0.39 − 0.29 =　0.700 m



埋戻控除　$0.09^2 \times \pi/4$　= 0.006

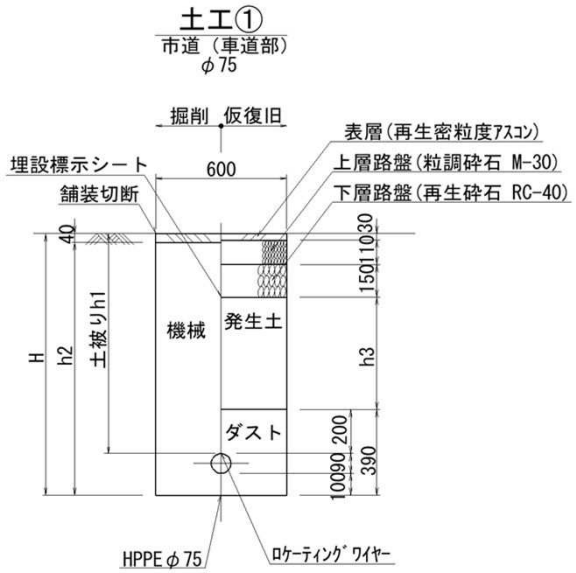
工　種	細　別	1m当り・1箇所当り 算　式	数　量	単位	数　量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2　×　1.0	2.0	m	58.00
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600　×　1.0	0.600	m2	17.40
As殻処理工		0.600　×　0.04	0.024	m3	0.70
As殻処理工		0.70　×　2.35	1.645	t	1.65
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600　×　1.340	0.804	m3	23.32
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.390 −　0.006　(配管控除)	0.228	m3	6.61
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.700	0.420	m3	12.18
在来土流用		在来土流用 12.18	12.18	m3	12.18
残土処理工		在来土流用 23.32　−　12.18　=	11.14	m3	11.14
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.600　×　1.0	0.600	m2	17.40
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	17.40
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	17.40

土工　①-4　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ75　土被り　1.21　m

土工延長　土工延長集計表より　=　3.8 m
掘削深　= 1.21 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =　1.360 m
埋戻深　ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =　0.390 m
埋戻深　在来土 = 0.04 + 1.36 − 0.39 − 0.29 =　0.720 m



埋戻控除　$0.09^2 \times \pi / 4$　= 0.006

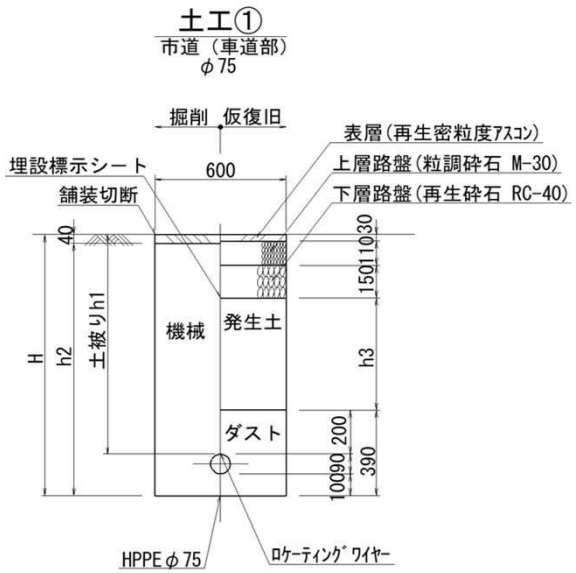
工　種	細　別	1ｍ当り・1箇所当り 算　式	数　量	単位	数　量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2　×　1.0	2.0	m	7.60
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600　×　1.0	0.600	m2	2.28
As殻処理工		0.600　×　0.04	0.024	m3	0.09
As殻処理工		0.09　×　2.35	0.212	t	0.21
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600　×　1.360	0.816	m3	3.10
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.390 −　0.006　(配管控除)	0.228	m3	0.87
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.720	0.432	m3	1.64
在来土流用		在来土流用 1.64	1.64	m3	1.64
残土処理工		在来土流用 3.10　−　1.64　=	1.46	m3	1.46
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.600　×　1.0	0.600	m2	2.28
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	2.28
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	2.28

土工　①-5　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ75　土被り　1.27　m

土工延長	土工延長集計表より	=	2.5 m
掘削深	= 1.27 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =		1.420 m
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =		0.390 m
埋戻深	在来土 = 0.04 + 1.42 − 0.39 − 0.29 =		0.780 m



埋戻控除　$0.09^2 \times \pi / 4$　= 0.006

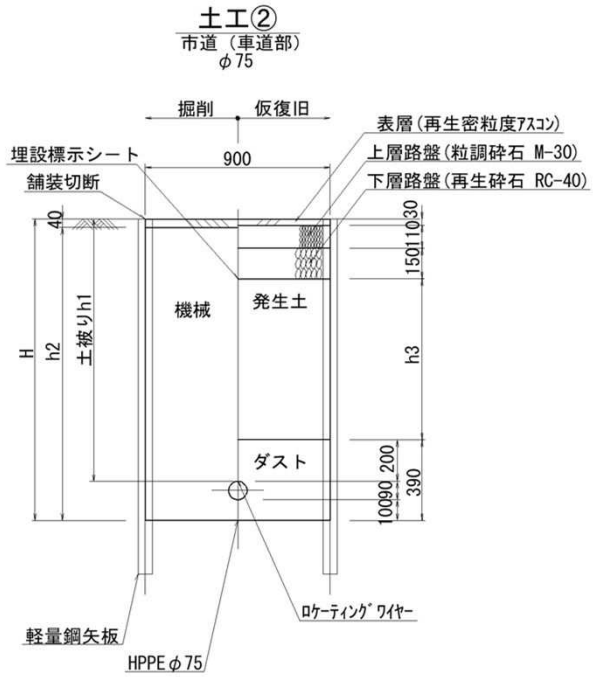
工　種	細　別	1m当り・1箇所当り 算　式	数　量	単位	数　量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2　×　1.0	2.0	m	5.00
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600　×　1.0	0.600	m2	1.50
As殻処理工		0.600　×　0.04	0.024	m3	0.06
As殻処理工		0.06　×　2.35	0.141	t	0.14
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600　×　1.420	0.852	m3	2.13
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.390 −　0.006　(配管控除)	0.228	m3	0.57
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.780	0.468	m3	1.17
在来土流用		在来土流用　1.30　×　0.9　=　1.17 1.17	1.17	m3	1.17
残土処理工		在来土流用 2.13　−　1.17　=	0.96	m3	0.96
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.600　×　1.0	0.600	m2	1.50
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	1.50
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	1.50

土工　②-1　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ75　土被り　1.36　m

土工延長	土工延長集計表より	=	30.9 m
掘削深	= 1.36 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =		1.510 m
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =		0.390 m
埋戻深	在来土 = 0.04 + 1.51 − 0.39 − 0.29 =		0.870 m



埋戻控除　$0.09^2 \times \pi / 4$　= 0.006

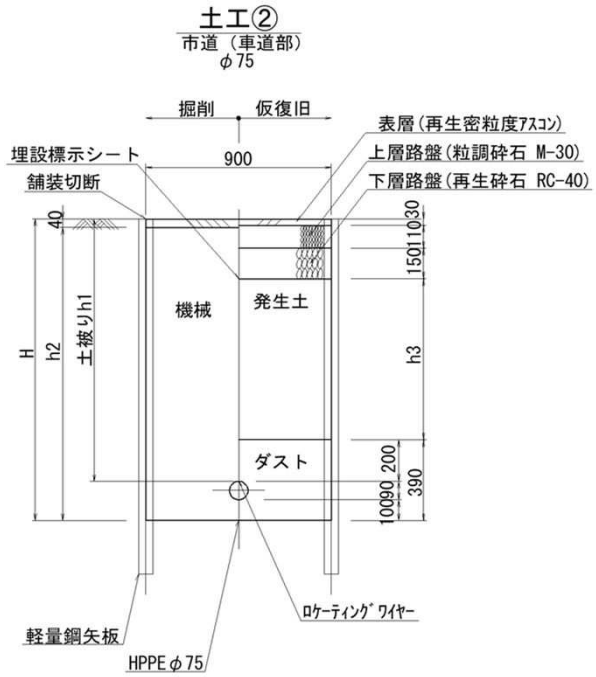
工　種	細　別	1 m 当り・1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	61.80
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m2	27.81
As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m3	1.11
As殻処理工		1.11 × 2.35	2.609	t	2.61
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.510	1.359	m3	41.99
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900 × 0.390 − 0.006 （配管控除）	0.345	m3	10.66
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900 × 0.870	0.783	m3	24.19
在来土流用		在来土流用 24.19	24.19	m3	24.19
残土処理工		在来土流用 41.99 − 24.19 =	17.80	m3	17.80
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m2	27.81
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m2	27.81
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m2	27.81

土工　②-2　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ75　土被り　1.46　m

土工延長	土工延長集計表より	=	14.4 m
掘削深	= 1.46 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =		1.610 m
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =		0.390 m
埋戻深	在来土 = 0.04 + 1.61 − 0.39 − 0.29 =		0.970 m



埋戻控除　$0.09^2 \times \pi / 4$　= 0.006

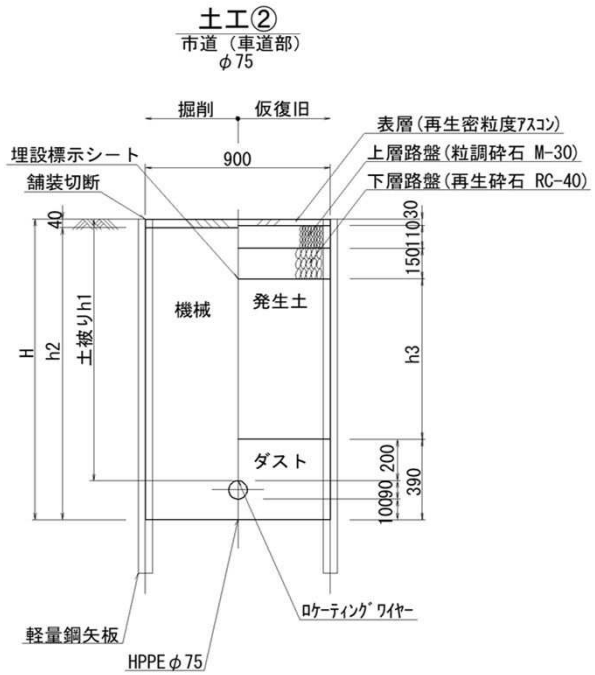
工　種	細　別	1 m 当り・1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	28.80
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m2	12.96
As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m3	0.52
As殻処理工		0.52 × 2.35	1.222	t	1.22
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.610	1.449	m3	20.87
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900 × 0.390 − 0.006 （配管控除）	0.345	m3	4.97
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900 × 0.970	0.873	m3	12.57
在来土流用		在来土流量 12.57	12.57	m3	12.57
残土処理工		在来土流用 20.87 − 12.57 =	8.30	m3	8.30
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m2	12.96
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m2	12.96
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m2	12.96

土工　②-3　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ75　土被り　1.53　m

土工延長	土工延長集計表より	=	4.8 m
掘削深	= 1.53 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =		1.680 m
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =		0.390 m
埋戻深	在来土 = 0.04 + 1.68 − 0.39 − 0.29 =		1.040 m



埋戻控除　$0.09^2 \times \pi / 4$　= 0.006

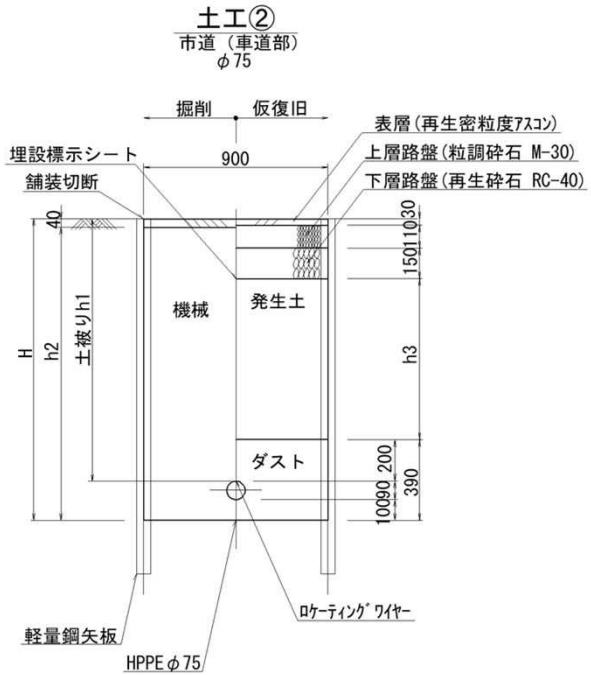
工　種	細　別	1 m 当り・1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	9.60
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m2	4.32
As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m3	0.17
As殻処理工		0.17 × 2.35	0.400	t	0.40
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.680	1.512	m3	7.26
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900 × 0.390 − 0.006 （配管控除）	0.345	m3	1.66
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900 × 1.040	0.936	m3	4.49
在来土流用		在来土流用 4.49	4.49	m3	4.49
残土処理工		在来土流用 7.26 − 4.49 =	2.77	m3	2.77
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m2	4.32
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m2	4.32
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m2	4.32

土工　②-4　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ75　土被り　1.57　m

土工延長	土工延長集計表より	=	6.1 m
掘削深	= 1.57 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =		1.720 m
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =		0.390 m
埋戻深	在来土 = 0.04 + 1.72 − 0.39 − 0.29 =		1.080 m



埋戻控除　$\frac{0.09}{2}$ × π/4　= 0.006

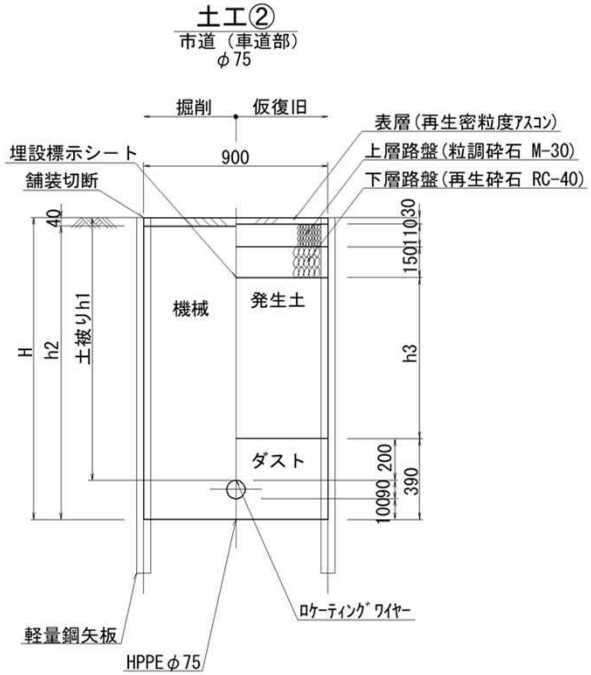
工　種	細　別	1 m 当り・1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	12.20
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m2	5.49
As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m3	0.22
As殻処理工		0.22 × 2.35	0.517	t	0.52
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.720	1.548	m3	9.44
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900 × 0.390 − 0.006 （配管控除）	0.345	m3	2.10
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900 × 1.080	0.972	m3	5.93
在来土流用		在来土流用 5.93	5.93	m3	5.93
残土処理工		在来土流用 9.44 − 5.93 =	3.51	m3	3.51
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m2	5.49
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m2	5.49
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m2	5.49

土工　②-5　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ75　土被り　1.61　m

土工延長	土工延長集計表より	=	4.9 m
掘削深	= 1.61 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =		1.760 m
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =		0.390 m
埋戻深	在来土 = 0.04 + 1.76 − 0.39 − 0.29 =		1.120 m



埋戻控除　$0.09^2 \times \pi / 4$　= 0.006

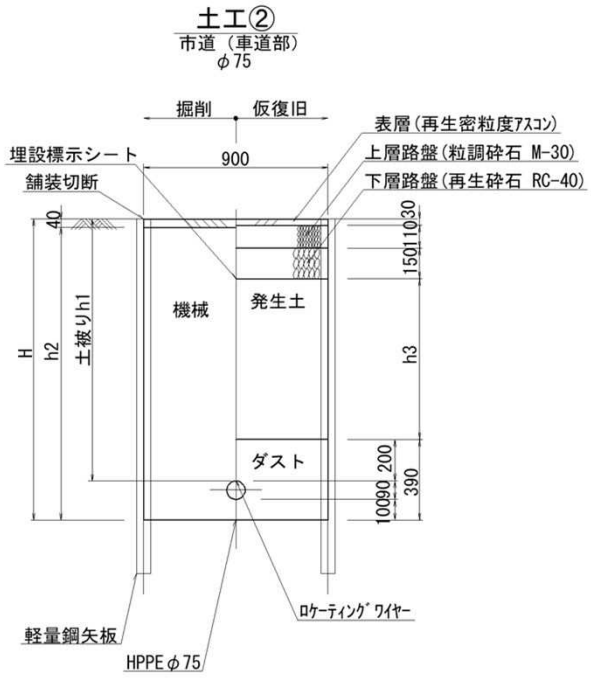
工　種	細　別	1 m 当り・1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	9.80
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m2	4.41
As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m3	0.18
As殻処理工		0.18 × 2.35	0.423	t	0.42
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.760	1.584	m3	7.76
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900 × 0.390 − 0.006 （配管控除）	0.345	m3	1.69
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900 × 1.120	1.008	m3	4.94
在来土流用		在来土流用 4.94	4.94	m3	4.94
残土処理工		在来土流用 7.76 − 4.94 =	2.82	m3	2.82
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m2	4.41
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m2	4.41
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m2	4.41

土工　②-6　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　　図

HPPE　　φ75　　土被り　　1.64　m

土工延長　　土工延長集計表より　　=　　11.2 m
掘削深　　= 1.64 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =　　1.790 m
埋戻深　　ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =　　0.390 m
埋戻深　　在来土 = 0.04 + 1.79 − 0.39 − 0.29 =　　1.150 m



埋戻控除　　0.09　　$\times \pi / 4$　　= 0.006
2

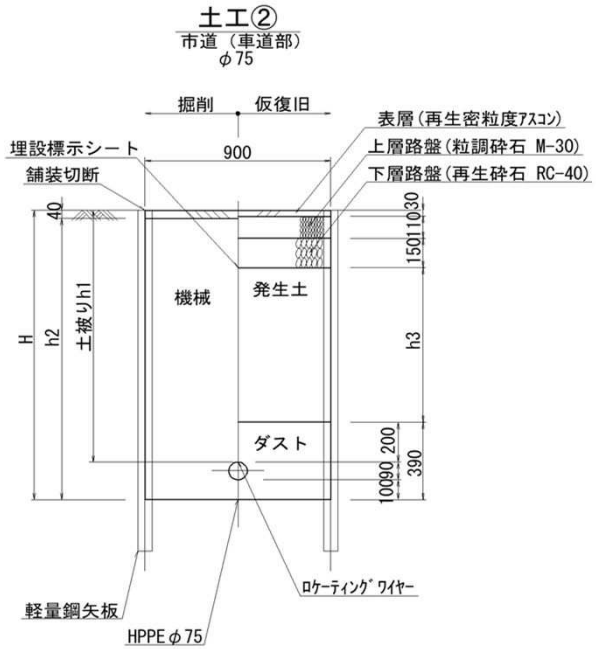
工　種	細　別	1 m 当り・1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2　×　1.0	2.0	m	22.40
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900　×　1.0	0.900	m2	10.08
As殻処理工		0.900　×　0.04	0.036	m3	0.40
As殻処理工		0.40　×　2.35	0.940	t	0.94
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900　×　1.790	1.611	m3	18.04
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900　×　0.390 −　0.006　(配管控除)	0.345	m3	3.86
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900　×　1.150	1.035	m3	11.59
在来土流用		在来土流用 11.59	11.59	m3	11.59
残土処理工		在来土流用 18.04　−　11.59　=	6.45	m3	6.45
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.900　×　1.0	0.900	m2	10.08
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900　×　1.0	0.900	m2	10.08
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900　×　1.0	0.900	m2	10.08

土工　②-7　　HPPE　φ75　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　　図

HPPE　　φ75　　土被り　　1.45　m

土工延長　　土工延長集計表より　　=　　4.3 m
掘削深　　= 1.45 + 0.09 + 0.10 − 0.04 =　　1.600 m
埋戻深　　ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 =　　0.390 m
埋戻深　　在来土 = 0.04 + 1.60 − 0.39 − 0.29 =　　0.960 m



埋戻控除　　$0.09^2 \times \pi / 4$　= 0.006

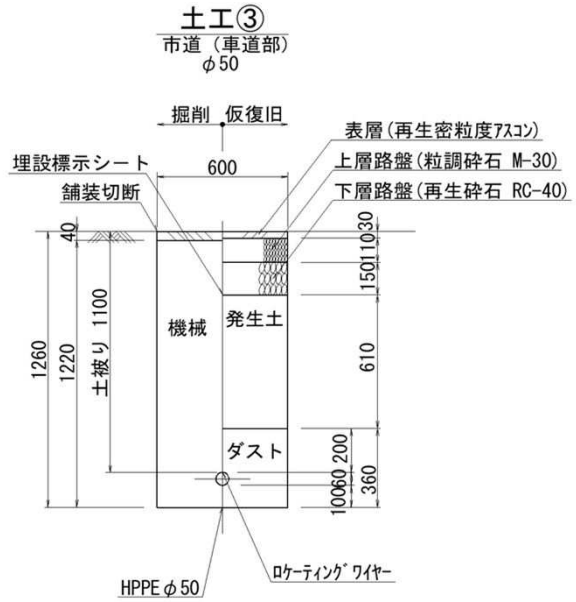
工　種	細　別	1 m 当 り・1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2　×　1.0	2.0	m	8.60
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900　×　1.0	0.900	m2	3.87
As殻処理工		0.900　×　0.04	0.036	m3	0.15
As殻処理工		0.15　×　2.35	0.353	t	0.35
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900　×　1.600	1.440	m3	6.19
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900　×　0.390 −　0.006　(配管控除)	0.345	m3	1.48
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.900　×　0.960	0.864	m3	3.72
在来土流用		在来土流用 3.72	3.72	m3	3.72
残土処理工		在来土流用 6.19　−　3.72　=	2.47	m3	2.47
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.900　×　1.0	0.900	m2	3.87
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900　×　1.0	0.900	m2	3.87
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900　×　1.0	0.900	m2	3.87

土工　③　　HPPE　φ50　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ50　土被り　1.10　m

土工延長	土工延長集計表より	=	65.8 m
掘削深	= 1.10 + 0.06 + 0.10 − 0.04 =		1.220 m
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.06 + 0.10 =		0.360 m
埋戻深	在来土 = 0.04 + 1.22 − 0.36 − 0.29 =		0.610 m



埋戻控除　$0.06^2 \times \pi / 4$　= 0.003

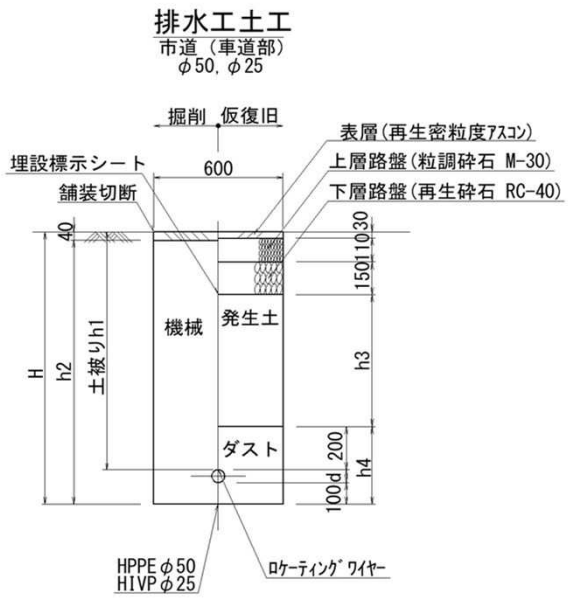
工　種	細　別	1 m 当り・1 箇所当り 算　式	数　量	単位	数　量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2　×　1.0	2.0	m	131.60
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600　×　1.0	0.600	m2	39.48
As殻処理工		0.600　×　0.04	0.024	m3	1.58
As殻処理工		1.58　×　2.35	3.713	t	3.71
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600　×　1.220	0.732	m3	48.17
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.360 −　0.003　（配管控除）	0.213	m3	14.02
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600　×　0.610	0.366	m3	24.08
在来土流用		在来土流用 24.08	24.08	m3	24.08
残土処理工		在来土流用 48.17　−　24.08　=	24.09	m3	24.09
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.600　×　1.0	0.600	m2	39.48
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	39.48
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	39.48

土工　排-1　　HPPE　φ50　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ50　土被り　1.10　m

土工延長	土工延長集計表より	=	5.0 m
掘削深	= 1.10 + 0.06 + 0.10 − 0.04 =		1.220 m
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.06 + 0.10 =		0.360 m
埋戻深	在来土 = 0.04 + 1.22 − 0.36 − 0.29 =		0.610 m



埋戻控除　$0.06^2 \times \pi / 4$ = 0.003

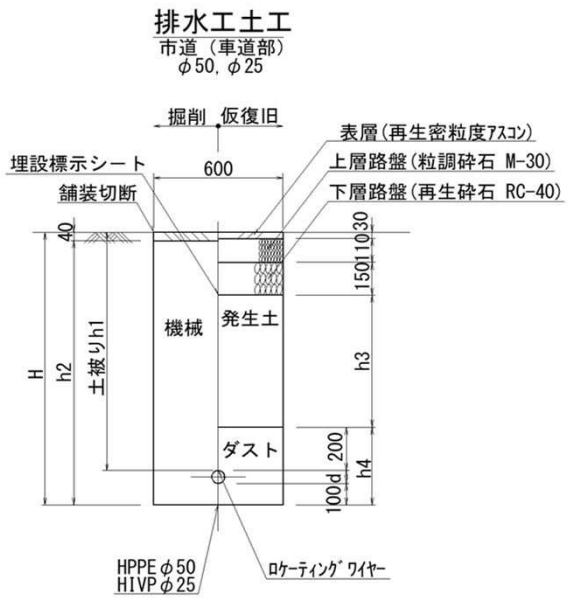
工　種	細　別	1m当り・1箇所当り 算　式	数　量	単位	数　量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	10.00
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m2	3.00
As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m3	0.12
As殻処理工		0.12 × 2.35	0.282	t	0.28
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600 × 1.220	0.732	m3	3.66
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600 × 0.360 − 0.003 （配管控除）	0.213	m3	1.07
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧	0.600 × 0.610	0.366	m3	1.83
在来土流用		在来土流用 1.83	1.83	m3	1.83
残土処理工		在来土流用 3.66 − 1.83 =	1.83	m3	1.83
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m2	3.00
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m2	3.00
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m2	3.00

土工　排-2　　HPPE　φ50　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　　図

HPPE　　φ50　　土被り　　0.15　m

土工延長　　土工延長集計表より　　=　　2.4 m
掘削深　　= 0.15 + 0.06 + 0.10 − 0.04 =　　0.270 m



埋戻控除　　$0.06^2 \times \pi/4$　= 0.003

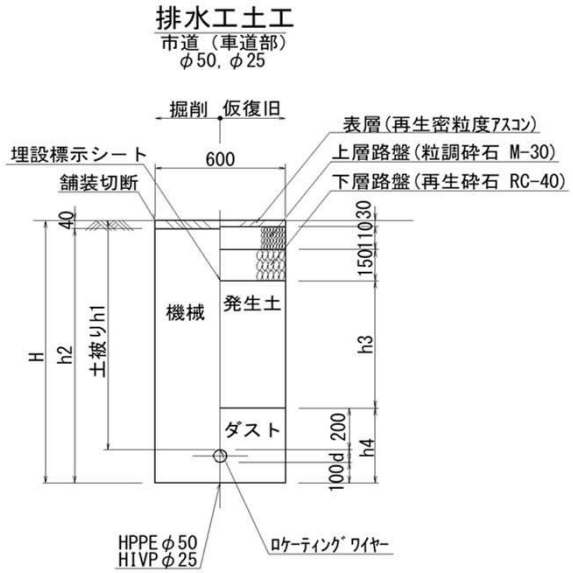
工　種	細　別	1 m 当り・1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2　×　1.0	2.0	m	4.80
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600　×　1.0	0.600	m2	1.44
As殻処理工		0.600　×　0.04	0.024	m3	0.06
As殻処理工		0.06　×　2.35	0.141	t	0.14
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600　×　0.270	0.162	m3	0.39
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧			m3	—
埋戻工	在来土 BH0.28m3　ﾀﾝﾊﾟ転圧			m3	—
在来土流用		在来土流用		m3	—
残土処理工		在来土流用 0.39　−　　=	0.39	m3	0.39
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.600　×　1.0	0.600	m2	1.44
上層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	1.44
下層路盤工(車道)	人力　W=1.8m未満　ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600　×　1.0	0.600	m2	1.44

土工　排-3　　HPPE　φ50　　土　工　数　量　計　算　書　　1.0式当り

略　図

HPPE　φ50　土被り　1.11　m

土工延長　土工延長集計表より　=　1.4 m
掘削深　= 1.11 + 0.06 + 0.10 − 0.04 =　1.230 m
埋戻深　ダスト = 0.20 + 0.06 + 0.10 =　0.360 m
埋戻深　在来土 = 0.04 + 1.23 − 0.36 − 0.29 =　0.620 m



埋戻控除　$0.06^2 \times \pi/4$　= 0.003

工　種	細　別	1 m 当り・1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	2.88
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m2	0.86
As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m3	0.03
As殻処理工		0.03 × 2.35	0.071	t	0.07
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600 × 1.230	0.738	m3	1.06
埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × 0.360 − 0.003 (配管控除)	0.213	m3	0.31
埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × 0.620	0.372	m3	0.54
在来土流用		在来土流用 0.54	0.54	m3	0.54
残土処理工		在来土流用 1.06 − 0.54 =	0.52	m3	0.52
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m2	0.86
上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m2	0.86
下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m2	0.86

HPPE φ75 切管調書

略図	甲切管			乙切管												計	残	切断（c）
コー ―― ―― ――																		
2.520 1.33 0.67 0.28			2.52			1.33			0.67			0.28				4.800	0.200	4
コー ―― ―― ――																		
2.110 1.76 0.66 0.28			2.11			1.76			0.66			0.28				4.810	0.190	4
コー ―― ―― ――																		
1.170 2.71 0.66 0.24			1.17			2.71			0.66			0.24				4.780	0.220	4
コー ―― ――																		
2.450 1.50 0.66			2.45			1.50			0.66							4.610	0.390	3
コー ―― ――																		
2.420 1.56 0.66			2.42			1.56			0.66							4.640	0.360	3
コー ―― ――																		
2.270 1.73 0.63			2.27			1.73			0.63							4.630	0.370	3
コー ―― ――																		
2.800 1.24 0.63			2.80			1.24			0.63							4.670	0.330	3
コー ―― ――																		
3.000 1.04 0.56			3.00			1.04			0.56							4.600	0.400	3
コー ―― ――																		
3.000 1.08 0.55			3.000			1.08			0.55							4.630	0.370	3
コー ―― ――																		
3.000 1.10 0.51			3.00			1.10			0.51							4.610	0.390	3
コー ―― ――																		
2.930 1.18 0.50			2.93			1.18			0.50							4.610	0.390	3
コー ―― ――																		
1.070 3.05 0.50			1.07			3.05			0.50							4.620	0.380	3
コー ―― ――																		
3.000 1.12 0.47			3.00			1.12			0.47							4.590	0.410	3
コー ―― ――																		
2.040 2.12 0.43			2.04			2.12			0.43							4.590	0.410	3
コー ―― ―― ――																		
3.160 1.00 0.41 0.23			3.16			1.00			0.41			0.23				4.800	0.200	4
コー ――																		
4.160 0.41			4.16			0.41										4.570	0.430	2

HPPE φ75 切管調書

略　　図	甲 切 管			乙 切 管												計	残	切断（c）
コー　——　—— 3.500　0.77　0.39			3.50			0.77			0.39							4.660	0.340	3
コー　——　—— 2.000　2.28　0.39			2.00			2.28			0.39							4.670	0.330	3
コー　——　—— 3.500　0.78　0.39			3.50			0.78			0.39							4.670	0.330	3
コー　—— 4.310　0.38			4.31			0.38										4.690	0.310	2
コー　——　—— 1.630　2.70　0.37			1.63			2.70			0.37							4.700	0.300	3
コー　——　—— 3.590　0.76　0.36			3.59			0.76			0.36							4.710	0.290	3
コー　——　—— 3.370　1.00　0.31			3.37			1.00			0.31							4.680	0.320	3
コー　——　—— 3.450　1.00　0.31			3.45			1.00			0.31							4.760	0.240	3
コー　——　—— 3.770　0.70　0.30			3.77			0.70			0.30							4.770	0.230	3
コー　—— 4.490　0.29			4.49			0.29										4.780	0.220	2
コー　—— 4.500　0.28			4.50			0.28										4.780	0.220	2
コー 4.660			4.66													4.660	0.340	1
																	—	
合　計	直管 HPPE φ75			L = 5,000			28	本								131.090	8.910	82

HPPE φ50 切管調書

略　　図	甲 切 管			乙 切 管												計	残	切断（c）
コー 4.760			4.760													4.760	0.240	1
コー　ーー　ーー 4.430　0.39　0.30			4.430			0.39			0.30							5.120		3
コー　ーー　ーー　ーー　ーー 1.000　0.63　0.27　0.63　0.63			1.000			0.63			0.27			0.63			0.63	3.160	1.840	5
コー　ーー　ーー　ーー　ーー 0.500　0.63　0.93　0.63　0.39			0.500			0.63			0.93			0.63			0.39	3.080	1.920	5
																	―	
合　計	直管 HPPE φ50			L = 5,000			4		本							16.120	3.880	14

本舗装復旧工

項目 名称	形状寸法	算式	単位	計	設計数量
＜舗装取壊し、掘削＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	舗装復旧図より B路線 167.80 + E路線 55.00 + F路線 54.80 + G1路線 137.20 + G2路線 127.10 + H1路線 43.60 H2路線 + 45.20 + I路線 147.50 + J1路線 223.70 + J2路線 134.10 + K路線 22.00 + M路線 6.10	m	1164.10	1160
舗装版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	舗装復旧図より B路線 222.00 + E路線 71.40 + F路線 70.90 + G1路線 240.90 + G2路線 153.60 + H1路線 46.70 H2路線 + 101.10 + I路線 258.90 + J1路線 261.30 + J2路線 216.80 + K路線 47.20 + M路線 6.90	m^2	1697.70	1700
As殻運搬工	BH積込 DT4t運搬 Asｶﾞﾗ	仮舗装 636.64 × 0.03 + (1697.70 − 636.64) × 0.04	m^3	61.542	62
処分費	Asがら	61.542 × 2.35	t	144.62	145
床堀	排出ｶﾞｽ対策型 BH0.28m3 ﾚｷ質土	636.64 × 0.01	m^3	6.366	6
残土処理工	BH積込 DT4t運搬 土砂	6.366	m^3	6.366	6
処分費	土砂	6.366	m^3	6.366	6
＜本舗装復旧＞					
(市道) 表層工(車道)	車道 1.4m<b≦3.0m (ﾀｯｸｺｰﾄ) 再生密粒度ｱｽｺﾝ t＝4cm	1697.70	m^2	1697.70	1700
不陸整正		1697.70	m^2	1697.70	1700

配水管　材料

名　　称	形状・寸法	単位	管長	図面別数量 配水管 B路線 φ75	E路線 φ75	F路線 φ75	G路線 φ75	H路線 φ75	I路線 φ75 φ50	J路線 φ75	K路線 φ50	M路線 φ75	設計計上数量	管種口径別 延長 HPPE 75	HPPE 50		EF継手(融着) 箇所数 φ75	口数 φ75	箇所数 φ50	口数 φ50	箇所数	口数	ﾌﾗﾝｼﾞ 口数 φ75
EF形HPPE　φ75，φ50																							7.5k
EF直管	φ75×5,000	本	5.00	22	8	8	37	10	12	44			141	705.00				141					
EF直管	φ50×5,000	本	5.00						9		2		11		55.00					11			
EF直管(切管用)	受け口付 φ75×5,000	本	5.00										切管調書 28	131.09				28					
EF直管(切管用)	受け口付 φ50×5,000	本	5.00										切管調書 2		9.88					2			
EF直管	ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ φ75×5,000	本	5.00	1									1										
EFｿｹｯﾄ	φ100	個	―																				
EFｿｹｯﾄ	φ75	個	―	2	3	2	8	6	4	11		2	38				38						
EFｿｹｯﾄ	φ50	個	―						1		1		2						2				
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×90°	個	0.44										―										
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×45°	個	0.38				4	5	1	9			19	7.22			19						
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×22 1/2°	個	0.28	2		1	5		4	3			15	4.20			15						
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×11 1/4°	個	0.26										―				―						
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×90°	個	0.54										―					―					
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×45°	個	0.48	2			2	3	3	1			11	5.28				11					
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×22 1/2°	個	0.38	4			3		2	2			11	4.18				11					
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×11 1/4°	個	0.36										―					―					
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×90°	個	0.32										―										
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×45°	個	0.22										―				―						
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×22 1/2°	個	0.18										―				―						

名　　称	形状・寸法	単位	管長	図面別数量 配水管 B路線 φ75	E路線 φ75	F路線 φ75	G路線 φ75	H路線 φ75	I路線 φ75 φ50	J路線 φ75	K路線 φ50	M路線 φ75	設計計上数量	管種口径別 延長 HPPE 75	HPPE 50		EF継手(融着) 箇所数 φ75	口数 φ75	箇所数 φ50	口数 φ50	箇所数	口数	ﾌﾗﾝｼﾞ 口数 φ75
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×11 1/4°	個	0.18										—				—						
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×90°	個	0.37										—					—					
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×45°	個	0.27										—					—					
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×22 1/2°	個	0.23										—					—					
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×11 1/4°	個	0.22										—					—					
EFチーズ	φ100×φ75	個	0.31 0.14										—										
EFチーズ	φ75×φ75	個	0.25 0.10	2			3 1	2 2	4	3 2		1	11	3.35			11						
EFチーズ	φ75×φ50	個	0.28 0.10	1			1	1		1	1		4	0.40	0.28		4						
レデューサ	φ75×φ50	個	0.36						1				1	0.36									
PE挿し口付鋳鉄製T字管	φ75×φ75 7.5K GF	個	0.71	1	1		2	2	2	5			13	9.23									
フランジ短管	φ75×H400 7.5k RF-GF	個	—				2	2	1	1			6										
フランジ短管	φ75×H500 7.5k RF-GF	個	—							1			1										
補修弁	φ75×H150 7.5k RF-GF	個	-				2	2	1	2			7										
空気弁(急速)	φ25 7.5k RF	個	-				2	2	1	2			7										
不断水割T字管	鋳鉄管用 φ100(DIP)×φ100 7.5k GF	組	0.27										—										
不断水割T字管	鋳鉄管用 φ75(DIP)×φ75 7.5k GF	組	0.26										—										
ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ100 7.5k RF	基	0.25										—										
ﾌﾗﾝｼﾞ接合材	LSP型 φ75 7.5k GF SUS･BN	組	—				6	6	3	6			21										21
ﾌﾗﾝｼﾞ接合材	φ75 7.5k GF SUS･BN	組	—										—										—

名　　称	形状・寸法	単位	管長	図面別数量 配水管 B路線 φ75	E路線 φ75	F路線 φ75	G路線 φ75	H路線 φ75	I路線 φ75 φ50	J路線 φ75	K路線 φ50	M路線 φ75	設計計上数量	管種口径別 延長 HPPE 75	HPPE 50		EF継手(融着) 箇所数 φ75	口数 φ75	箇所数 φ50	口数 φ50	箇所数	口数	ﾌﾗﾝｼﾞ 口数 φ75
PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ100 7.5k	基	0.86										—										
PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ75 7.5k	基	0.78				2	3	1	4		1	11	8.58									
PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ50 7.5k	基	0.68						1		1		2		1.36								
管路断水器	φ100 7.5k　DIP用	基	—										—										
GX形 二受T字管	GX形 DIP ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装 φ250×φ100	I寸法 個	0.19 0.50										—										
明示テープ	HPPEφ100	m	—										—										
明示テープ	HPPEφ75	m	—	136.87	44.64	44.8	225.60	75.89	80.38	268.98		6.73	883.9										
明示テープ	HPPEφ50	m	—						50.44		15.39		65.8										
管埋設ｼｰﾄ	W=150mm 2倍折込	m	—	136.87	44.64	44.80	225.60	75.89	130.82	268.98	15.39	6.73	949.7										
ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ		m	—	136.87	44.64	44.80	225.60	75.89	130.82	268.98	15.39	6.73	949.7										
ﾒｶﾆｶﾙｷｬｯﾌﾟ	φ75	個	—					1				1	2										
ﾒｶﾆｶﾙｷｬｯﾌﾟ	φ50	個	—										—										
計	配水管	HPPE 75	総延長	883.89										878.89	66.52		87	191	2	13			21
		HPPE 50	総延長	65.83																			
各路線延長	配水管	HPPE 75		136.87	44.64	44.80	225.60	75.89	80.38	268.98		6.73											
		HPPE 50							50.44		15.39												

配水管　布設工

名　　称	形状・寸法	単位	算　　式	設計計上数量
＜布設工＞				
HPPE　φ75				
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ100	m	PE仕切弁　S仕切弁　不断水T字管 －　－　－　＝	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ75	m	PE仕切弁 883.89　－　8.58　＝　875.31	875.3
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ50	m	PE仕切弁 65.83　－　1.36　＝　64.47	64.5
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（ｿｹｯﾄ･両受部） φ100	箇所	＝	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（ｿｹｯﾄ･両受部） φ75	箇所	87　＝　87	87
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（ｿｹｯﾄ･両受部） φ50	箇所	2　＝　2	2
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（片受口部） φ75	口	191　＝　191	191
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（片受口部） φ50	口	13　＝　13	13
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ100	口	切管調書より ＝	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ75	口	切管調書より 82　＝　82	82
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ50	口	切管調書より 4　＝　4	4
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75 7.5k	口	空気弁 （　21　－　7　）　＝　14	14
メカニカル継手工	離脱防止付 φ75	口	2　＝　2	2
メカニカル継手工	離脱防止付 φ50	口	＝	
継手取外し工	メカニカル継手 φ75	口	8　＝　8	8
空気弁設置工	φ75	基	7　＝　7	7

名　　称	形状・寸法	単位	算　　式	設計計上数　量
仕切弁設置工	φ75	基	PE仕切弁 11　　＝　11	11
仕切弁設置工	φ50	基	PE仕切弁 2　　+　　＝　2	2
不断水連絡工	鋳鉄管用 φ100×φ100	箇所	＝	
不断水連絡工	鋳鉄管用 φ75×φ75	箇所	＝	
管路断水器設置工	φ100　DIP用	箇所	＝	
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ100	m	＝	
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ75	m	883.9　　＝　883.9	883.9
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ50	m	65.8　　＝　65.8	65.8
埋設表示シート取付工	W=15cm，ﾀﾞﾌﾞﾙ，50m/巻	m	949.7　　＝　949.7	949.7
ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ取付工		m	949.7　　＝　949.7	949.7

排水管　材料

名　　称	形状・寸法	単位	管長	図面別数量 排水管 B路線 φ50	H路線 φ50	I路線 φ50	J路線 φ50	K路線 φ50	設計計上数量	管種口径別 延長 HPPE 50			EF継手(融着) 箇所数 φ50	口数 φ50	箇所数	口数	箇所数	口数	ﾌﾗﾝｼﾞ 口数 φ50
EF形HPPE　φ50																			7.5k
EF直管	φ75×5,000	本	5.00						—										
EF直管(切管用)	φ50×5,000	本	5.00						切管調書 —										
EF直管(切管用)	プレーンエンド φ75×5,000	本	5.00						切管調書 —										
EF直管(切管用)	受け口付 φ50×5,000	本	5.00						切管調書 2	6.24				2					
EFｿｹｯﾄ	φ100	個	—						—										
EFｿｹｯﾄ	φ75	個	—						—				—						
EFｿｹｯﾄ	φ50	個	—						—										
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×90°	個	0.32	3	2	3	2	3	13	4.16			13						
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×45°	個	0.38						—				—						
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×22 1/2°	個	0.28						—				—						
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×11 1/4°	個	0.26						—				—						
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×90°	個	0.37		1		1		2	0.74				2					
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×45°	個	0.48						—					—					
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×22 1/2°	個	0.38						—					—					
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×11 1/4°	個	0.36						—					—					
EFチーズ	φ100×φ75	個	0.31 0.14						—										
EFチーズ	φ75×φ75	個	0.25 0.10						—										
EFチーズ	φ75×φ50	個	0.28 0.10	1	1		1		—	0.84									

名　　称	形状・寸法	単位	管長	図面別数量					設計計上数量	管種口径別									
				排水管						延　長			EF継手(融着)						ﾌﾗﾝｼﾞ
				B路線	H路線	I路線	J路線	K路線		HPPE			箇所数	口数	箇所数	口数	箇所数	口数	口数
				φ50	φ50	φ50	φ50	φ50		50			φ 50	φ 50					φ 50
EFﾌﾗﾝｼﾞ	φ100 FCD 7.5k GF	個	0.33						－										
EF受口付ﾌﾗﾝｼﾞ	φ75 FCD 7.5k GF	個	0.16						－										
PE挿し口付鋳鉄製T字管	φ75×φ75 7.5k GF	個	0.71						－										
補修弁	φ75×H150 7.5k RF-GF	個	-						－										
空気弁(急速)	φ25 7.5k RF	個	-						－										
DIP管用異種管継手	φ100×φ75 GX挿口-PE挿口	個	0.75						－										
不断水割T字管	鋳鉄管用 φ100(DIP)×φ100 7.5k GF	組	0.27						－										
不断水割T字管	鋳鉄管用 φ75(DIP)×φ75 7.5k GF	組	0.26						－										
ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ100 7.5k RF	基	0.25						－										
ﾌﾗﾝｼﾞ接合材	LSP型 φ75 7.5k GF SUS･BN	組	－						－										－
ﾌﾗﾝｼﾞ接合材	φ75 7.5k GF SUS･BN	組	－						－										－
PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ150 7.5k	基	1.03						－										
PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ100 7.5k	基	0.86						－										
PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ50 7.5k	基	0.68	1	1		1		3	2.04									
管路断水器	φ100 7.5k　DIP用	基	－						－										
管路断水器	φ75 7.5k　DIP用	基	－						－										
GX形 二受T字管	GX形 DIP ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装 φ250×φ100	I寸法 個	0.19 0.50						－										
明示テープ	HPPEφ50	m	－	2.85	3.6	2.25	3.10	2.91	14.7										
明示テープ	HPPEφ100	m	－						－										

名　　称	形状・寸法	単位	管長	図面別数量					設計計上数量	管種口径別									
				排水管						延　長			EF継手(融着)						ﾌﾗﾝｼﾞ
				B路線	H路線	I路線	J路線	K路線		HPPE			箇所数	口数	箇所数	口数	箇所数	口数	口数
				φ50	φ50	φ50	φ50	φ50		50			φ 50	φ 50					φ 50
明示テープ	HPPEφ75	m	―						―										
管埋設ｼｰﾄ	W=150mm 2倍折込	m	―	2.85	3.60	2.25	3.10	2.91	14.7										
ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ		m	―	2.85	3.60	2.25	3.10	2.91	14.7										
ﾒｶﾆｶﾙｷｬｯﾌﾟ	φ100	個																	
計	排水管	HPPE 50	総延長		11.86					14.02			13	4					
各路線延長	排水管	HPPE 50			3.60	2.25	3.10	2.91											

排水管　布設工

名　　称	形状・寸法	単位	算　　式	設計計上数　量
＜布設工＞				
HPPE　φ50				
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ50	m	PE仕切弁 11.86　－　2.04　＝　9.82	9.8
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ100	m	PE仕切弁　S仕切弁　不断水T字管 －　－　－　＝	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ75	m	PE仕切弁　S仕切弁　不断水T字管 －　－　－　＝	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（ｿｹｯﾄ･両受部） φ50	箇所	13　＝　13	13
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（ｿｹｯﾄ･両受部） φ100	箇所	＝	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（ｿｹｯﾄ･両受部） φ75	箇所	＝	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（片受口部） φ50	口	4　＝　4	4
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合（片受口部） φ75	口	＝	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ150	口	切管調書より ＝	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ100	口	切管調書より ＝	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ50	口	切管調書より 10　＝　10	10
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ100 7.5k	口	＝	
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75 7.5k	口	＝	
GX継手工	異形管部 φ150	口	GX　HPPE ＋　＝	
空気弁設置工	φ75	基	＝	
仕切弁設置工	φ50	基	PE仕切弁 3　＝　3	3

名　　称	形状・寸法	単位	算　　式	設計計上数　量
仕切弁設置工	φ100	基	PE仕切弁 +　　＝	
不断水連絡工	鋳鉄管用 φ100×φ100	箇所	＝	
不断水連絡工	鋳鉄管用 φ75×φ75	箇所	＝	
管路断水器設置工	φ100　DIP用	箇所	＝	
管路断水器設置工	φ75　DIP用	箇所	＝	
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ50	m	14.7　＝　14.7	14.7
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ100	m	＝	
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ50	m	＝	
埋設表示シート取付工	W=15cm，ﾀﾞﾌﾞﾙ，50m/巻	m	14.7　＝　14.7	14.7
ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ取付工		m	14.7　＝　14.7	14.7
コンクリート削孔工	φ75　L=100	箇所	4　＝　4	4

仕 切 弁 室 工 数 量 集 計 書

	名　　称	規　　格	単位	合計数量	小計	配水管 G路線 φ75 仕切弁室 H=1070用	配水管 H路線 φ75 仕切弁室 H=1070用	配水管 I路線 φ75, φ50 仕切弁室 H=1070用	配水管 J路線 φ75 仕切弁室 H=1070用	配水管 K路線 φ50 仕切弁室 H=1070用	配水管 M路線 φ75 仕切弁室 H=1070用
	＜仕切弁室材料＞										
	鉄蓋	円形1号 H=150	個	15	13	2	3	2	4	1	1
	上部壁	φ250 H=150 NVK-25-150A	個	15	13	2	3	2	4	1	1
	中部壁	φ250 H=200 NVK-25-200B	個	30	26	4	6	4	8	2	2
	中部壁	φ250 H=300 NVK-25-300B	個								
	下部壁	φ250/φ350 H=300 NVK-25-300C	個	15	13	2	3	2	4	1	1
	底版	φ350 H=70 NHVO-25-70S(KRE)	個	15	13	2	3	2	4	1	1
	＜仕切弁室設置工＞										
	仕切弁筐設置工	円形1号 円形 250mm×H150	箇所	15	13	2	3	2	4	1	1
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 上部壁φ250×H150	箇所	15	13	2	3	2	4	1	1
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁φ250×H200	箇所	30	26	4	6	4	8	2	2
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁φ250×H300	箇所								
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 下部壁φ250/φ350×H300	箇所	15	13	2	3	2	4	1	1
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 底板φ350×H70	箇所	15	13	2	3	2	4	1	1

仕 切 弁 室 工 数 量 集 計 書

	名　　称	規　　格	単位		小計	排水管 B路線 φ50 仕切弁室 H=1070用	排水管 H路線 φ50 仕切弁室 H=1070用	排水管 J路線 φ50 仕切弁室 H=1070用			
	＜仕切弁室材料＞										
	鉄蓋	円形1号 H=150	個		2	1	1	1			
	上部壁	φ250 H=150 NVK-25-150A	個		2	1	1	1			
	中部壁	φ250 H=200 NVK-25-200B	個		4	2	2	2			
	中部壁	φ250 H=300 NVK-25-300B	個								
	下部壁	φ250/φ350 H=300 NVK-25-300C	個		2	1	1	1			
	底版	φ350 H=70 NHVO-25-70S(KRE)	個		2	1	1	1			
	＜仕切弁室設置工＞										
	仕切弁筐設置工	円形1号 円形 250mm×H150	箇所		2	1	1	1			
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 上部壁φ250×H150	箇所		2	1	1	1			
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁φ250×H200	箇所		4	2	2	2			
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁φ250×H300	箇所								
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 下部壁φ250/φ350×H300	箇所		2	1	1	1			
	仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 底板φ350×H70	箇所		2	1	1	1			

空 気 弁 室 工 数 量 集 計 書

	名　　称	規　　格	単位	数量	G路線 φ75 空気弁室 H=640用	H路線 φ75 空気弁室 H=640用	I路線 φ75 空気弁室 H=640用	J路線 φ75 空気弁室 H=640用			
	＜空気弁室材料＞										
	鉄蓋	円形3号 H=100 WORS-50G-10L-F1C	個	7	2	2	1	2			
	上部壁	φ500 H=200 WO-50-200A Nツキ	個	7	2	2	1	2			
	中部壁	φ500 H=100 NHVO-50-100B	個	7	2	2	1	2			
	下部壁	φ500 H=200 NHVO-50-200CH	個	7	2	2	1	2			
	底版	φ500 H=40 NHVO-50-40S(1/2)	個	7	2	2	1	2			
	＜空気弁室設置工＞										
	空気弁筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	7	2	2	1	2			
	空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 上部壁　φ500×H200	箇所	7	2	2	1	2			
	空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁　φ500×H100	箇所	7	2	2	1	2			
	空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 下部壁　φ500×H200	箇所	7	2	2	1	2			
	空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 底板φ500×H40	箇所	7	2	2	1	2			

土留工

名　　称	規　格	単位	算　　式	合計
軽量鋼矢板建込工･引抜工	両側分 機械力･矢板長2.0m	m	G路線 土工②-2 8.3 + H路線 土工②-4 2.0 + I路線 土工②-2 6.1 + I路線 土工②-3 3.4 + J路線 土工②-1 6.6 + J路線 土工②-3 1.4 + J路線 土工②-4 4.1	
			J路線 土工②-5 4.9 + B路線 土工②-1 24.3 + B路線 土工②-7 4.3 + F路線 土工②-7 0.9	66.3
軽量鋼矢板建込工･引抜工	両側分 機械力･矢板長2.5m	m	G路線 土工②-6 4.8 + H路線 土工②-6 6.4	11.2
軽量金属支保設置工･撤去工	1段	m	G路線 土工②-2 8.3 + H路線 土工②-4 2.0 + I路線 土工②-2 6.1 + I路線 土工②-3 3.4 + J路線 土工②-1 6.6 + J路線 土工②-3 1.4 + J路線 土工②-4 4.1	
			J路線 土工②-5 4.9 + G路線 土工②-6 4.8 + H路線 土工②-6 6.4 + B路線 土工②-1 24.3 + B路線 土工②-7 4.3 + F路線 土工②-7 0.9	77.5
賃料日数		日	土工②-1 15 + 土工②-2 12 + 土工②-3 10 + 土工②-4 11 + 土工②-5 10 + 土工②-6 11 + 土工2-7 10	79
軽量鋼矢板重量		t日	日当たり最大スパン長＝5.6m（土工②-6） 5.6 / 0.25m/枚 × 2面 × 20.8kg × 79	76

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L＝ 2.00 m(土工②-1 HPPE φ75)

1. 設計条件

掘削延長 :	30.90	m	機械掘削:	ﾊﾞｯｸﾎｳ (掘削・積込)
掘削深さ :	1.51	m		BH 山積 0.28m^3
掘削幅 :	0.90	m	旋回角度: 180° (Cm35)	
土質 :	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日	
管種・管径 :	HPPE φ75		TK 運転時 T=7.0hr/日	
掘削土量 :	41.99	m3		
埋戻土 :	34.85	m3	補正係数:	1.8
土留延長 :	30.90	m		

2. 施工に要する作業時間の算定

1)掘削工　水道事業実務必携より
ﾊﾞｯｸﾎｳ　= 67 m3/日
(掘削・積込)

2)土留設置工　水道事業実務必携より
土留設置　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 3.5 (人/100m) = = 28.6 m/日

支保設置　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.8 (人/100m) = = 125.0 m/日

3)管布設工　水道事業実務必携より
HPPE φ75　配管工
10m ÷ 0.10 (人/10m) = 100.0 m/日
1箇所 ÷ 0.05 (人/1箇所) = 20.0 箇所/日

4)埋戻工　水道事業実務必携より
普通作業員 タンパ×1台
= 33.0 m3/日

5)土留撤去工　水道事業実務必携より
土留撤去　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 2.3 (人/100m) = 43.5 m/日

支保撤去　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.5 (人/100m) = 200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)

(1)掘削工　対象V= 41.99
41.99 ÷ 67 m3/日 = 0.63
0.63 × 1.8 = 1.1 日

(2)土留工・支保工設置　#########　28.6 m/日
＋ #########　125.0 m/日 = 1.33
1.33 × 1.8 = 2.4 日

(3)管布設工　#########　100.0 m/日 = 0.31
20.0 箇所/日 =
計 = 0.31
0.31 × 1.8 = 0.6 日

(4)埋戻工　対象V= 34.85
34.85 ÷ 33.0 m3/日 = 1.06
1.06 × 1.8 = 1.9 日

(6)土留工・支保工撤去　#########　43.5 m/日
＋ #########　200.0 m/日 = 0.86
0.86 × 1.8 = 1.6 日

項目	稼働日数	工程計画表
掘削工	1.1 日	(0.5) (0.6) 1.1
土留設置工	2.4 日	(2.4) 3.0
管布設工	0.60 日	(0.3) (0.3) 3.3
埋戻工	1.9 日	(1.0) (1.0) 4.3
	日	4.3
土留撤去工	1.6 日	(0.8) (0.8) 5.1
損料日数		矢板・支保損料日数 5.1 日
水替日数		

1スパン・1箇所当り土留使用日数 ＝ 5.1日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 ＝ 5.1 日 + 9 日 ＝ 14.1 日 ≒ 15 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L＝ 2.00 m(土工②-2 HPPE φ75)

1. 設計条件

掘削延長 :	14.40	m	機械掘削:	ﾊﾞｯｸﾎｳ (掘削・積込)
掘削深さ :	1.61	m		BH 山積 0.28m^3
掘削幅 :	0.90	m	旋回角度: 180° (Cm35)	
土質 :	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日	
管種・管径 :	HPPE φ75		TK 運転時 T=7.0hr/日	
掘削土量 :	20.87	m3		
埋戻土 :	17.54	m3	補正係数:	1.8
土留延長 :	14.40	m		

2. 施工に要する作業時間の算定

1)掘削工　水道事業実務必携より
ﾊﾞｯｸﾎｳ　= 67 m3/日
(掘削・積込)

2)土留設置工　水道事業実務必携より
土留設置　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 3.5 (人/100m) = = 28.6 m/日

支保設置　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.8 (人/100m) = = 125.0 m/日

3)管布設工　水道事業実務必携より
HPPE φ75　配管工
10m ÷ 0.10 (人/10m) = 100.0 m/日
1箇所 ÷ 0.05 (人/1箇所) = 20.0 箇所/日

4)埋戻工　水道事業実務必携より
普通作業員 タンパ×1台
= 33.0 m3/日

5)土留撤去工　水道事業実務必携より
土留撤去　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 2.3 (人/100m) = 43.5 m/日

支保撤去　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.5 (人/100m) = 200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)

(1)掘削工　対象V= 20.87
20.87 ÷ 67 m3/日 = 0.31
0.31 × 1.8 = 0.6 日

(2)土留工・支保工設置　#########　28.6 m/日
＋ #########　125.0 m/日 = 0.62
0.62 × 1.8 = 1.1 日

(3)管布設工　#########　100.0 m/日 = 0.14
20.0 箇所/日 =
計 = 0.14
0.14 × 1.8 = 0.3 日

(4)埋戻工　対象V= 17.54
17.54 ÷ 33.0 m3/日 = 0.53
0.53 × 1.8 = 1 日

(6)土留工・支保工撤去　#########　43.5 m/日
＋ #########　200.0 m/日 = 0.40
0.40 × 1.8 = 0.7 日

項目	稼働日数	工程計画表
掘削工	0.6 日	(0.3) (0.3) 0.6
土留設置工	1.1 日	(1.1) 1.4
管布設工	0.30 日	(0.1) (0.2) 1.6
埋戻工	1.0 日	(0.5) (0.5) 2.1
	日	2.1
土留撤去工	0.7 日	(0.4) (0.4) 2.5
損料日数		矢板・支保損料日数 2.5 日
水替日数		

1スパン・1箇所当り土留使用日数 ＝ 2.5日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 ＝ 2.5 日 + 9 日 ＝ 11.5 日 ≒ 12 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L＝ 2.00 m(土工②-3 HPPE φ75)

1. 設計条件

掘削延長 :	4.80	m	機械掘削:	ﾊﾞｯｸﾎｳ (掘削・積込)
掘削深さ :	1.68	m		BH 山積 0.28m^3
掘削幅 :	0.90	m	旋回角度: 180° (Cm35)	
土質 :	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日	
管種・管径 :	HPPE φ75		TK 運転時 T=7.0hr/日	
掘削土量 :	7.26	m3		
埋戻土 :	6.15	m3	補正係数:	1.8
土留延長 :	4.80	m		

2. 施工に要する作業時間の算定

1)掘削工　水道事業実務必携より
ﾊﾞｯｸﾎｳ　= 67 m3/日
(掘削・積込)

2)土留設置工　水道事業実務必携より
土留設置　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 3.5 (人/100m) = = 28.6 m/日

支保設置　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.8 (人/100m) = = 125.0 m/日

3)管布設工　水道事業実務必携より
HPPE φ75　配管工
10m ÷ 0.10 (人/10m) = 100.0 m/日
1箇所 ÷ 0.05 (人/1箇所) = 20.0 箇所/日

4)埋戻工　水道事業実務必携より
普通作業員 タンパ×1台
= 33.0 m3/日

5)土留撤去工　水道事業実務必携より
土留撤去　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 2.3 (人/100m) = 43.5 m/日

支保撤去　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.5 (人/100m) = 200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)

(1)掘削工　対象V= 7.26
7.26 ÷ 67 m3/日 = 0.11
0.11 × 1.8 = 0.2 日

(2)土留工・支保工設置　4.80m ／ 28.6 m/日
＋ 4.80m ／ 125.0 m/日 = 0.21
0.21 × 1.8 = 0.4 日

(3)管布設工　4.80m ／ 100.0 m/日 = 0.05
20.0 箇所/日 =
計 = 0.05
0.05 × 1.8 = 0.1 日

(4)埋戻工　対象V= 6.15
6.15 ÷ 33.0 m3/日 = 0.19
0.19 × 1.8 = 0.3 日

(6)土留工・支保工撤去　4.80m ／ 43.5 m/日
＋ 4.80m ／ 200.0 m/日 = 0.13
0.13 × 1.8 = 0.2 日

項目	稼働日数	工程計画表
掘削工	0.2 日	(0.1) (0.1) 0.2
土留設置工	0.4 日	(0.4) 0.5
管布設工	0.10 日	(0.1) 0.6
埋戻工	0.3 日	(0.2) (0.2) 0.8
	日	0.8
土留撤去工	0.2 日	(0.1) (0.1) 0.9
損料日数		矢板・支保損料日数 0.9 日
水替日数		

1スパン・1箇所当り土留使用日数 ＝ 0.9日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 ＝ 0.9 日 ＋ 9 日 ＝ 9.9 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L＝ 2.00 m(土工②-4 HPPE φ75)

1. 設計条件

掘削延長 :	6.10	m	機械掘削:	ﾊﾞｯｸﾎｳ (掘削・積込)
掘削深さ :	1.72	m		BH 山積 0.28m^3
掘削幅 :	0.90	m	旋回角度: 180° (Cm35)	
土質 :	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日	
管種・管径 :	HPPE φ75		TK 運転時 T=7.0hr/日	
掘削土量 :	9.44	m3		
埋戻土 :	8.03	m3	補正係数:	1.8
土留延長 :	6.10	m		

2. 施工に要する作業時間の算定

1)掘削工　水道事業実務必携より
ﾊﾞｯｸﾎｳ (掘削・積込) = 67 m3/日

2)土留設置工　水道事業実務必携より
土留設置　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 3.5 (人/100m) = = 28.6 m/日

支保設置　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.8 (人/100m) = = 125.0 m/日

3)管布設工　水道事業実務必携より
HPPE φ75　配管工
10m ÷ 0.10 (人/10m) = 100.0 m/日
1箇所 ÷ 0.05 (人/1箇所) = 20.0 箇所/日

4)埋戻工　水道事業実務必携より
普通作業員 タンパ×1台
= 33.0 m3/日

5)土留撤去工　水道事業実務必携より
土留撤去　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 2.3 (人/100m) = 43.5 m/日

支保撤去　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.5 (人/100m) = 200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)

(1)掘削工　対象V= 9.44
9.44 ÷ 67 m3/日 = 0.14
0.14 × 1.8 = 0.3 日

(2)土留工・支保工設置　6.10m ／ 28.6 m/日
＋ 6.10m ／ 125.0 m/日 = 0.26
0.26 × 1.8 = 0.5 日

(3)管布設工　6.10m ／ 100.0 m/日 = 0.06
1 箇所 ／ 20.0 箇所/日 = 0.05
計 = 0.11
0.11 × 1.8 = 0.2 日

(4)埋戻工　対象V= 8.03
8.03 ÷ 33.0 m3/日 = 0.24
0.24 × 1.8 = 0.4 日

(6)土留工・支保工撤去　6.10m ／ 43.5 m/日
＋ 6.10m ／ 200.0 m/日 = 0.17
0.17 × 1.8 = 0.3 日

項目	稼働日数	工程計画表
掘削工	0.3 日	(0.1) (0.2) 0.3
土留設置工	0.5 日	(0.5) 0.7
管布設工	0.20 日	(0.1) (0.1) 0.8
埋戻工	0.4 日	(0.2) (0.2) 1.0
	日	1.0
土留撤去工	0.3 日	(0.2) (0.2) 1.2
損料日数		矢板・支保損料日数 1.2 日
水替日数		

1スパン・1箇所当り土留使用日数 ＝ 1.2日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 ＝ 1.2 日 ＋ 9 日 ＝ 10.2 日 ≒ 11 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L＝ 2.00 m(土工②-5 HPPE φ75)

1. 設計条件

掘削延長 :	4.90	m	機械掘削:	ﾊﾞｯｸﾎｳ (掘削・積込)
掘削深さ :	1.76	m		BH 山積 0.28m^3
掘削幅 :	0.90	m	旋回角度: 180° (Cm35)	
土質 :	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日	
管種・管径 :	HPPE φ75		TK 運転時 T=7.0hr/日	
掘削土量 :	7.76	m3		
埋戻土 :	6.63	m3	補正係数:	1.8
土留延長 :	4.90	m		

2. 施工に要する作業時間の算定

1)掘削工　水道事業実務必携より
ﾊﾞｯｸﾎｳ　= 67 m3/日
(掘削・積込)

2)土留設置工　水道事業実務必携より
土留設置　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 3.5 (人/100m) = = 28.6 m/日

支保設置　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.8 (人/100m) = = 125.0 m/日

3)管布設工　水道事業実務必携より
HPPE φ75　配管工
10m ÷ 0.10 (人/10m) = 100.0 m/日
1箇所 ÷ 0.05 (人/1箇所) = 20.0 箇所/日

4)埋戻工　水道事業実務必携より
普通作業員 タンパ×1台
= 33.0 m3/日

5)土留撤去工　水道事業実務必携より
土留撤去　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 2.3 (人/100m) = 43.5 m/日

支保撤去　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.5 (人/100m) = 200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)

(1)掘削工　対象V= 7.76
7.76 ÷ 67 m3/日 = 0.12
0.12 × 1.8 = 0.2 日

(2)土留工・支保工設置　4.90m ／ 28.6 m/日
＋ 4.90m ／ 125.0 m/日 = 0.21
0.21 × 1.8 = 0.4 日

(3)管布設工　4.90m ／ 100.0 m/日 = 0.05
20.0 箇所/日 =
計 = 0.05
0.05 × 1.8 = 0.1 日

(4)埋戻工　対象V= 6.63
6.63 ÷ 33.0 m3/日 = 0.20
0.20 × 1.8 = 0.4 日

(6)土留工・支保工撤去　4.90m ／ 43.5 m/日
＋ 4.90m ／ 200.0 m/日 = 0.14
0.14 × 1.8 = 0.2 日

項目	稼働日数	工程計画表
掘削工	0.2 日	(0.1) (0.1) 0.2
土留設置工	0.4 日	(0.4) 0.5
管布設工	0.10 日	(0.1) 0.6
埋戻工	0.4 日	(0.2) (0.2) 0.8
	日	0.8
土留撤去工	0.2 日	(0.1) (0.1) 0.9
損料日数		矢板・支保損料日数 0.9 日
水替日数		

1スパン・1箇所当り土留使用日数 ＝ 0.9日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 ＝ 0.9 日 ＋ 9 日 ＝ 9.9 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L＝ 2.00 m(土工②-6 HPPE φ75)

1. 設計条件

掘削延長 :	11.20	m	機械掘削:	ﾊﾞｯｸﾎｳ (掘削・積込)
掘削深さ :	1.79	m		BH 山積 0.28m^3
掘削幅 :	0.90	m	旋回角度: 180° (Cm35)	
土質 :	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日	
管種・管径 :	HPPE φ75		TK 運転時 T=7.0hr/日	
掘削土量 :	18.04	m3		
埋戻土 :	15.45	m3	補正係数:	1.8
土留延長 :	11.20	m		

2. 施工に要する作業時間の算定

1)掘削工　水道事業実務必携より
ﾊﾞｯｸﾎｳ　= 67 m3/日
(掘削・積込)

2)土留設置工　水道事業実務必携より
土留設置　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 3.5 (人/100m) = = 28.6 m/日

支保設置　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.8 (人/100m) = = 125.0 m/日

3)管布設工　水道事業実務必携より
HPPE φ75　配管工
10m ÷ 0.10 (人/10m) = 100.0 m/日
1箇所 ÷ 0.05 (人/1箇所) = 20.0 箇所/日

4)埋戻工　水道事業実務必携より
普通作業員 タンパ×1台
= 33.0 m3/日

5)土留撤去工　水道事業実務必携より
土留撤去　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 2.3 (人/100m) = 43.5 m/日

支保撤去　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.5 (人/100m) = 200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)

(1)掘削工　対象V= 18.04
18.04 ÷ 67 m3/日 = 0.27
0.27 × 1.8 = 0.5 日

(2)土留工・支保工設置　#########　28.6 m/日
＋ #########　125.0 m/日 = 0.48
0.48 × 1.8 = 0.9 日

(3)管布設工　#########　100.0 m/日 = 0.11
20.0 箇所/日 =
計 = 0.11
0.11 × 1.8 = 0.2 日

(4)埋戻工　対象V= 15.45
15.45 ÷ 33.0 m3/日 = 0.47
0.47 × 1.8 = 0.8 日

(6)土留工・支保工撤去　#########　43.5 m/日
＋ #########　200.0 m/日 = 0.31
0.31 × 1.8 = 0.6 日

項　目	稼働日数	工程計画表
掘削工	日 0.5	(0.2) (0.3) 0.5
土留設置工	日 0.9	(0.9) 1.2
管布設工	日 0.20	(0.1) (0.1) 1.3
埋戻工	日 0.8	(0.4) (0.4) 1.7
	日	1.7
土留撤去工	日 0.6	(0.3) (0.3) 2.0
損料日数		矢板・支保損料日数 2.0 日
水替日数		

1スパン・1箇所当り土留使用日数 ＝ 2.0日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 ＝ 2.0 日 + 9 日 ＝ 11.0 日 ≒ 11 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L＝ 2.00 m(土工②-7 HPPE φ75)

1. 設計条件

掘削延長 :	4.30	m	機械掘削:	ﾊﾞｯｸﾎｳ (掘削・積込)
掘削深さ :	1.60	m		BH 山積 0.28m^3
掘削幅 :	0.90	m	旋回角度: 180° (Cm35)	
土質 :	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日	
管種・管径 :	HPPE φ75		TK 運転時 T=7.0hr/日	
掘削土量 :	6.19	m3		
埋戻土 :	5.20	m3	補正係数:	1.8
土留延長 :	4.30	m		

2. 施工に要する作業時間の算定

1)掘削工　水道事業実務必携より
ﾊﾞｯｸﾎｳ　= 67 m3/日
(掘削・積込)

2)土留設置工　水道事業実務必携より
土留設置　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 3.5 (人/100m) = = 28.6 m/日

支保設置　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.8 (人/100m) = = 125.0 m/日

3)管布設工　水道事業実務必携より
HPPE φ75　配管工
10m ÷ 0.10 (人/10m) = 100.0 m/日
1箇所 ÷ 0.05 (人/1箇所) = 20.0 箇所/日

4)埋戻工　水道事業実務必携より
普通作業員 タンパ×1台
= 33.0 m3/日

5)土留撤去工　水道事業実務必携より
土留撤去　矢板長 : 2.00 m
特殊作業員
100m ÷ 2.3 (人/100m) = 43.5 m/日

支保撤去　1 段 (水圧式パイプサポート)
とび工
100m ÷ 0.5 (人/100m) = 200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)

(1)掘削工　対象V= 6.19
6.19 ÷ 67 m3/日 = 0.09
0.09 × 1.8 = 0.2 日

(2)土留工・支保工設置　4.30m ／ 28.6 m/日
＋ 4.30m ／ 125.0 m/日 = 0.18
0.18 × 1.8 = 0.3 日

(3)管布設工　4.30m ／ 100.0 m/日 = 0.04
20.0 箇所/日 =
計 = 0.04
0.04 × 1.8 = 0.1 日

(4)埋戻工　対象V= 5.20
5.20 ÷ 33.0 m3/日 = 0.16
0.16 × 1.8 = 0.3 日

(6)土留工・支保工撤去　4.30m ／ 43.5 m/日
＋ 4.30m ／ 200.0 m/日 = 0.12
0.12 × 1.8 = 0.2 日

項　目	稼働日数	工程計画表
掘削工	0.2 日	(0.1) (0.1) 0.2
土留設置工	0.3 日	(0.3) 0.4
管布設工	0.10 日	(0.1) 0.5
埋戻工	0.3 日	(0.2) (0.2) 0.7
	日	0.7
土留撤去工	0.2 日	(0.1) (0.1) 0.8
損料日数		矢板・支保損料日数 0.8 日
水替日数		

1スパン・1箇所当り土留使用日数 ＝ 0.8日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 ＝ 0.8 日 ＋ 9 日 ＝ 9.8 日 ≒ 10 日 とする。

消火栓　材料

名　　称	形状・寸法	単位	管長	図面別数量					設計計上数量	管種口径別						
				配水管						延　長		EF継手(融着)		ﾌﾗﾝｼﾞ		
				B路線	E路線	I路線	J路線					箇所数	口数	口数	口数	口数
												φ 75	φ 75	φ 100	φ 100	φ 75
消火栓　材料														7.5k	10k	7.5k
PE挿し口付鋳鉄製T字管	φ75×φ75 7.5K GF	個	0.71	1	1	1	3		6							
補修弁	φ75×H150 7.5k RF-GF	個	―	1	1	1	3		6							
フランジ短管	φ75×H400 7.5k RF-GF	個	―	1	1	1	3		6							
地下式単口消火栓	φ75 7.5k RF	基	―	1	1	1	3		6							
ﾌﾗﾝｼﾞ接合材	LSP型 φ75 7.5k GF SUS･BN	組	―	3	3	3	9		18							18
消火栓ﾎﾞｯｸｽ	H=640								―							
鉄蓋	円形3号 H=100	個	―	1	1	1	3		6							
上部壁	ﾚｼﾞｺﾝ製 φ500 H=200	個	―	1	1	1	3		6							
中部壁	ﾚｼﾞｺﾝ製 φ500 H=100	個	―	1	1	1	3		6							
下部壁	ﾚｼﾞｺﾝ製 φ500 H=200	個	―	1	1	1	3		6							
底板	ﾚｼﾞｺﾝ製 φ500 H=40	個	―	1	1	1	3		6							

消火栓　設置工

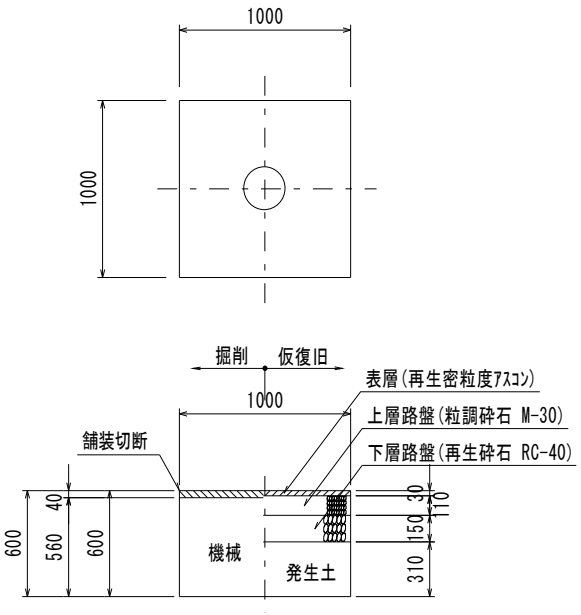
名　　称	形状・寸法	単位	算　　式	設計計上数量
＜設置工＞				
消火栓				
消火栓設置工	φ75　地下式単口	基	6 ＝ 6	6
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75 7.5k	口	消火栓 (18 － 6) ＝ 12	12
＜消火栓室＞	H=640			
消火栓筐設置工	円形3号 円形 500㎜×H100	箇所	6 ＝ 6	6
消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 上部壁　φ500×H200	箇所	6 ＝ 6	6
消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁　φ500×H100	箇所	6 ＝ 6	6
消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 下部壁　φ500×H200	箇所	6 ＝ 6	6
消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 底板φ500×H40	箇所	6 ＝ 6	6

弁室撤去工集計表

名　　称	単位	算　　式	計
1号　φ250	箇所	平面図より B路線 3 + E路線 1 + F路線 1 + G路線 3 + H路線 2 + I路線 3 + J路線 4 =	17
3号　φ500	箇所	B路線 1 + E路線 1 + I路線 1 + J路線 3 =	6

既設弁室撤去土工　　数　量　計　算　書　　23　箇所

略　図



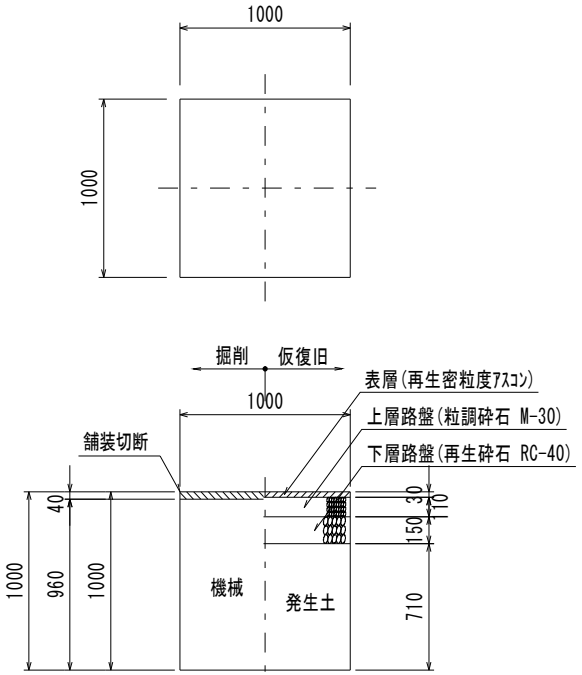
工　種	細　別	1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	1.0 × 4 =	4.0	m	92.00
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	1.00 × 1.00	1.000	m2	23.00
As殻処理工		1.000 × 0.04	0.040	m3	0.92
As殻処理工		0.04 × 2.35	0.094	t	2.16
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 1.00 × 1.00 × 0.56	0.560	m3	12.88
埋戻工	在来土 BH0.28m3 ﾀﾝﾊﾟ転圧	H 1.00 × 1.00 × 0.31	0.310	m3	7.13
在来土流用		在来土流用 7.92 × 0.9 = 7.13	7.92	m3	7.92
残土処理工		在来土流用 12.88 − 7.92 =	4.96	m3	4.96
＜舗装仮復旧工＞					
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	1.00 × 1.00	1.000	m2	23.00
上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	1.00 × 1.00	1.000	m2	23.00
下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	1.00 × 1.00	1.000	m2	23.00

通水試験工

名　　称	形状寸法	単位	算　　式	設計計上 数 量
			配水管 HPPE φ75 878.89 + 配水管 HPPE φ50 66.52 + 排水管 HPPE φ50 14.02	
			= 959.43	
通水試験工	給水車なし	日	959.43 ÷ 1250 = 0.768	**0.77**

試掘工(各路線2箇所)　　数　量　計　算　書　　18　箇所

略　図



工　種	細　別	1 箇所当り 算　式	数 量	単位	数 量
＜土工＞					
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	1.0 × 4 =	4.0	m	72.00
As版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	1.00 × 1.00	1.000	m2	18.00
As殻処理工		1.000 × 0.04	0.040	m3	0.72
As殻処理工		0.04 × 2.35	0.094	t	1.69
掘削工	土砂 BH0.28m3	H 1.00 × 1.00 × 0.96	0.960	m3	17.28
発生土運搬工	DT 4t積 BH0.28m3積込 土砂(現場～仮置場)			m3	17.28
積込工	排出ｶﾞｽ対策型 BH0.80m3, 土砂(仮置場)ルーズ			m3	17.28
埋戻工	在来土 BH0.28m3 ﾀﾝﾊﾟ転圧	H 1.00 × 1.00 × 0.71	0.710	m3	12.78
流用土運搬工	DT 4t積 BH0.80m3積込 土砂(仮置場～現場)	在来土流用 14.20 × 0.9 = 12.78	14.20	m3	14.20
残土運搬工	DT 10t積 BH0.80m3積込 土砂(仮置場～処分地)	在来土流用 17.28 − 14.20 =	3.08	m3	3.08
処分費	ﾚｷ質土			m3	3.08
＜舗装仮復旧工＞					
As表層工(車道)	車道 人力 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm､PK-3	1.00 × 1.00	1.000	m2	18.00
上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 ﾀﾝﾊﾟ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	1.00 × 1.00	1.000	m2	18.00
下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 ﾀﾝﾊﾟ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	1.00 × 1.00	1.000	m2	18.00

作業日数算定表(交通誘導員)

工　　種	種別	単位	作業量	日当り作業量	作業日数（日）			備　考
					実働日数	不稼働率	工期	
2工区								
＜土工＞								
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで	m	2,070	230	9.00	1.7	15.30	
舗装版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	m2	637	194	3.28	1.7	5.58	
床掘工	土砂 BH0.28m3	m3	800	85	9.41	1.7	16.00	
ダスト埋戻工	ﾀﾞｽﾄ BH0.28m3　タンパ転圧	m3	225	36	6.25	1.7	10.63	
発生土埋戻工	在来土 BH0.28m3　タンパ転圧	m3	415	36	11.53	1.7	19.60	
＜仮復旧＞								
下層路盤工(市道)	人力､W=1.8m未満､ﾀﾝﾊﾟ転圧 RC-40､t＝15cm　車道	m2	637	222	2.87	1.7	4.88	
上層路盤工(市道)	人力､W=1.8m未満､ﾀﾝﾊﾟ転圧 M-30､t＝11cm　車道	m2	637	222	2.87	1.7	4.88	
表層工(市道)	人力､W=1.4m未満､ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 再生密粒度ｱｽｺﾝ, t＝3cm　車道 PK-3	m2	637	250	2.55	1.7	4.34	
＜本舗装復旧＞								
舗装切断工	As版ｶｯﾀｰ t＝15cmまで		1,160	230	5.04	1.7	8.57	
舗装版取り壊し工	排出ｶﾞｽ対策型　直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	m2	1,700	194	8.76	1.7	14.89	
床堀	ﾚｷ質土 ﾚｷ質土	m3	6	85	0.07	1.7	0.12	
表層工(車道)	車道 1.4m<b≦3.0m (ﾀｯｸｺｰﾄ) 再生密粒度ｱｽｺﾝ t＝4cm	m2	1,700	250	6.80	1.7	11.56	
区画線工	ﾍﾟｲﾝﾄ式 W=15cm 実線	m		1000		1.7		
不陸整正		m2	1,700	1500	1.13	1.7	1.92	

工　　種	種別	単位	作業量	日当り作業量	作業日数（日）			備　考
					実働日数	不稼働率	工期	
＜管布設工＞								
(配水管)								
HPPE φ75								
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ75	m	875.3	100.0	8.75	1.7	14.88	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ50	m	64.5	100.0	0.65	1.7	1.11	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合(ｿｹｯﾄ･両受部) φ100	箇所		14.3		1.7		
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合(ｿｹｯﾄ･両受部) φ75	箇所	87.0	20.0	4.35	1.7	7.4	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合(ｿｹｯﾄ･両受部) φ50	箇所	2.0	25.0	0.08	1.7	0.14	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合(片受口部) φ75	口	191.0	28.6	6.68	1.7	11.36	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合(片受口部) φ50	口	13.0	35.7	0.36	1.7	0.61	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ100	口		50.0		1.7		
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ75	口	82.0	100.0	0.82	1.7	1.39	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ50	口	4.0	100.0	0.04	1.7	0.07	
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75 7.5k	口	14.0	16.7	0.84	1.7	1.43	
メカニカル継手工	離脱防止付 φ75	口	2.0	20.0	0.1	1.7	0.17	
メカニカル継手工	離脱防止付 φ50	口		20.0		1.7		
継手取外し工	メカニカル継手 φ75	口	8.0	32.0	0.25	1.7	0.43	
空気弁設置工	φ75	基	7.0	20.0	0.35	1.7	0.6	
仕切弁設置工	φ50	基	2.0	17.5	0.11	1.7	0.19	
仕切弁設置工	φ75	基	11.0	17.5	0.63	1.7	1.07	

工　　種	種別	単位	作業量	日当り作業量	作業日数（日）			備　考
					実働日数	不稼働率	工期	
不断水連絡工	鋳鉄管用 φ100×φ100	箇所		3.6		1.7		
不断水連絡工	鋳鉄管用 φ75×φ75	箇所		3.6		1.7		
管路断水器設置工	φ100　DIP用	箇所		3.6		1.7		
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ100	m		833.3		1.7		
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ75	m	883.9	909.1	0.97	1.7	1.65	
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ50	m	65.8	1111.1	0.06	1.7	0.1	
埋設表示シート取付工	W=15cm, ﾀﾞﾌﾞﾙ, 50m/巻	m	949.7	250.0	3.8	1.7	6.46	
ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ取付工		m	949.7	1000.0	0.95	1.7	1.62	
(排水管)								
HPPE φ50								
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ50	m	9.8	100.0	0.1	1.7	0.17	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ100	m		83.3		1.7		
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管据付工	融着接合 φ75	m		100.0		1.7		
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合(ｿｹｯﾄ･両受部) φ50	箇所	13.0	25.0	0.52	1.7	0.88	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合(ｿｹｯﾄ･両受部) φ100	箇所		14.3		1.7		
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合(ｿｹｯﾄ･両受部) φ75	箇所		20.0		1.7		
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合(片受口部) φ50	口	4.0	35.7	0.11	1.7	0.19	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	融着接合(片受口部) φ75	口		28.6		1.7		
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ150	口		25.0		1.7		
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ100	口		50.0		1.7		

工　　種	種別	単位	作業量	日当り作業量	作業日数（日）			備　考
					実働日数	不稼働率	工期	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ50	口	10.0	100.0	0.1	1.7	0.17	
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ100 7.5k	口		16.7		1.7		
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75 7.5k	口		16.7		1.7		
GX継手工	異形管部 φ150	口		18.0		1.7		
空気弁設置工	φ75	基		20.0		1.7		
仕切弁設置工	φ50	基	3.0	17.5	0.17	1.7	0.29	
仕切弁設置工	φ100	基		17.5		1.7		
不断水連絡工	鋳鉄管用 φ100×φ100	箇所		3.6		1.7		
不断水連絡工	鋳鉄管用 φ75×φ75	箇所		3.6		1.7		
管路断水器設置工	φ100　DIP用	箇所		3.6		1.7		
管路断水器設置工	φ75　DIP用	箇所		3.6		1.7		
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ50	m	14.7	833.3	0.02	1.7	0.03	
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ100	m		909.1		1.7		
管明ﾃｰﾌﾟ工	HPPEφ50	m		1111.1		1.7		
埋設表示シート取付工	W=15cm, ﾀﾞﾌﾞﾙ, 50m/巻	m	14.7	250.0	0.06	1.7	0.1	
ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ取付工		m	14.7	1000.0	0.01	1.7	0.02	
＜土留工＞								
軽量鋼矢板建込工	両側分 機械力･矢板長2.0m	m	66.3	12.3	5.39	1.7	9.16	
軽量鋼矢板引抜工	両側分 機械力･矢板長2.0m	m	66.3	16.8	3.95	1.7	6.72	
軽量鋼矢板建込工	両側分 機械力･矢板長2.5m	m	77.5	9.8	7.91	1.7	13.45	

工　　種	種別	単位	作業量	日当り作業量	作業日数（日）			備　考
					実働日数	不稼働率	工期	
軽量鋼矢板引抜工	両側分 機械力･矢板長2.5m	m	11.2	13.4	0.84	1.7	1.43	
＜弁室設置工＞								
＜仕切弁室設置工＞								
仕切弁筐設置工	円形1号 円形 250mm×H150	箇所	15.0	16.7	0.9	1.7	1.53	
仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 上部壁φ250×H150	箇所	15.0	100.0	0.15	1.7	0.26	
仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁φ250×H200	箇所	30.0	100.0	0.3	1.7	0.51	
仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁φ250×H300	箇所		100.0		1.7		
仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 下部壁φ250/φ350×H300	箇所	15.0	100.0	0.15	1.7	0.26	
仕切弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 底板φ350×H70	箇所	15.0	100.0	0.15	1.7	0.26	
＜空気弁室設置工＞								
空気弁筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	7.0	10.0	0.7	1.7	1.19	
空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 上部壁　φ500×H200	箇所	7.0	33.3	0.21	1.7	0.36	
空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁　φ500×H100	箇所	7.0	50.0	0.14	1.7	0.24	
空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 下部壁　φ500×H200	箇所	7.0	50.0	0.14	1.7	0.24	
空気弁筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 底板φ500×H40	箇所	7.0	50.0	0.14	1.7	0.24	
＜既設弁室撤去工＞								
既設仕切弁室鉄蓋撤去	1号　φ250	箇所	17.0	26.7	0.64	1.7	1.09	

工　　種	種別	単位	作業量	日当り作業量	作業日数（日）			備　考
					実働日数	不稼働率	工期	
既設空気弁・消火栓室鉄蓋撤去	3号　φ500	箇所	6.0	16.0	0.38	1.7	0.65	
＜通水試験工＞								
通水試験工	給水車なし　φ75～φ50	m	959.4	750	1.28	1.7	2.18	
合　計					124		211	
交通誘導員数	現場当たり		3人	×	124日	=	372人	交代要員を含む実働日数とし、1日当り3人/組を計上する。
消火栓								
＜管布設工＞								
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75 7.5k	口	12	16.7	0.72	1.7	1.22	
消火栓設置工	φ75　地下式単口	基	6	12.5	0.48	1.7	0.82	
＜消火栓室＞	H=640							
消火栓筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	6	10	0.6	1.7	1.02	
消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 上部壁　φ500×H200	箇所	6	33.3	0.18	1.7	0.31	
消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 中部壁　φ500×H100	箇所	6	50	0.12	1.7	0.2	
消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 下部壁　φ500×H200	箇所	6	50	0.12	1.7	0.2	
消火栓筐設置工	ﾚｼﾞｺﾝ製 底板φ500×H40	箇所	6	50	0.12	1.7	0.2	
合　計					2		4	
交通誘導員数	現場当たり		3人	×	2日	=	6人	交代要員を含む実働日数とし、1日当り3人/組を計上する。